

島根大学

保健管理センター一年報

[2023年度]

島根大学保健管理センター

ご挨拶

松江保健管理センター長 河野美江

2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、島根大学にも入学式・卒業式の縮小や授業の開始延期、オンライン化など大きな影響を与えました。学生たちが安全に、安心して勉学できるように、本部や各学部等が大変なご努力をなさってられました。松江保健管理センターでも全教職員・学生の体調管理、感染者の聴き取りなどの業務が生じ、試行錯誤の日々でしたが、その中で私たちを支えてくださった関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

さて、私は2023年4月より島根大学保健管理センター長を拝命いたしました。保健管理センター教員がセンター長となるのは、1993年に井上照雄所長が退職されて以来となります。私は2008年に学生相談担当として採用されたのですが、当時おられた検査技師さんから「井上先生はとても優しくて、お腹がすいた学生にバナナを食べさせておられましたよ」とか、他校の先生方から「島根大学で学生相談の会合をした時は、学内にあった宿舎で守衛さん交えて一晩中話したよ」と聞きました。いずれも古き良き時代のエピソードです。私が着任当時も、事務室にふらっと来られた学生や教職員の方々にお茶を入れて差し上げる、という医療機関らしくない独特の雰囲気がありました。

それから15年がたち、保健管理センターに対する期待や役割は変わってきました。通常健康診断や学生相談のみならず、結核や新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症時の危機管理や学生・教職員の事件・事故にかかる危機対応など、とても保健管理センタースタッフだけで担えるものではありません。各学部・研究科の先生方、学生支援課はじめ大学の事務の皆様との連携・協働がますます重要になってきています。

ご縁あって島根大学に入学してこられた学生さん、勤務されている教職員の皆様は島根大学にとって何よりの財産です。私達、松江保健管理センタースタッフ一同は、皆様のこころと身体健康を守るため、力を合わせて努めて参ります。今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

就任のご挨拶

出雲保健管理センター 保健師 永見茉里

2023年4月より、出雲保健管理センターの保健師に着任しました永見茉里と申します。大学卒業後は臨床現場で看護師として働き、一般外科病棟や集中治療室などで経験を積み、ご縁あってこちらで保健師として働く運びとなりました。臨床現場では、後輩指導や実習に来る看護学生の指導をすることはありましたが、教育現場で学生と関わるのは初めてとなります。

学生を取り巻く問題として、ハラスメント、多様性、障がい学習支援等様々なように感じます。学生を取り巻く問題についてはまだまだ勉強の最中ではありますが、他職種や他部署と協働して、少しでも学生が勉学に集中して取り組めるように支援していきたいと思っております。

また医療従事者を志す当キャンパスの学生については、新型コロナウイルス感染症に限らず、様々な感染症対策をして、臨床実習に臨む必要があります。感染症対策の重要性について、学生自身を守ることはもちろんですが、臨床現場で働いていた身としては、実習をさせてくださる医療機関や患者さんを守るために必要不可欠であると考えています。変わりゆく感染症対策について、私たち自身が学びつつ、学生にその必要性を指導していきたいと思っております。

未来の医療を担う学生たちが自立した社会人になれるように、社会に出る前の予行練習期間として大学生活を過ごせるように支援していきます。

出雲保健管理センター 保健師 今岡絵美子

2023年9月より出雲保健管理センターにて保健師として着任いたしました今岡絵美子と申します。隣接する島根大学医学部付属病院にて長い間、看護師として働いておりました。3人の子供の出産や育児休暇を挟みながらですが、精神科病棟、外来をはじめ、亜急性期病棟や一般病棟、外来化学療法室等様々な部署を経験して参りました。日々の多忙な業務に追われ、仕事と家庭の両立に悩む日々を送っておりましたが、ご縁があり、こちらのセンターで働かせていただくようになり生活が一変した一年だったように思います。

医療従事者として仕事をしていくことは、人の役に立てるというやりがいを感じる一方、人の命を預かるという使命感から求められることも多くストレスを感じることも多々あります。これからそのような状況に出会っていくであろう医学生さんたちに「どう対処していくのがベスト」なのか、「無理をしないためにはどのような考え方をしていっていいのか」といったスキルを身に付けていってもらえるようアドバイスをしていくことが自分の務めの一つでもあると考えている次第です。

まだまだ日常業務をこなすことに精一杯な私ですが、学生の皆さんに気軽に声をかけていただき、相談をしてもらえるような信頼関係が構築できるよう日々精進して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

出雲保健管理センター 臨床心理士・公認心理師 大野晋平

2023年10月より臨床心理士・公認心理師として着任いたしました、大野晋平と申します。私は島根大学大学院を卒業後、臨床心理士、公認心理師の資格を取得し、主に精神科クリニックや学校現場で臨床経験を積んで参りました。精神科クリニックでは主に思春期・青年期～老年期に至るまで様々な年代の患者様に対して、心理検査や心理療法の業務に従事しておりました。学校現場では、小学校、中学校、高校においてスクールカウンセラーとして勤務し、児童生徒の心のケアや、保護者、教員に対してのコンサルテーションなどの業務に従事しておりました。そしてこの度、ご縁あって出雲保健管理センターで臨床心理士として勤めさせていただく運びとなりました。

医療はまさしく人間にとってなくてはならない営みであり、これからの社会においてもその重要性は決して揺るがないものです。出雲キャンパスでは、学生の皆さんが日々医療や医学、看護学について学びを深めておられるのみならず、大学教職員の皆さまや附属病院職員の皆さまも日々の業務に勤めておられ、これらの営みの総体は地域社会の中で非常に重要な役割を担っておられることと思います。

しかし、重要な役割である反面、時にはストレスや疲労、傷つきが不可避なものとして現れてきます。そうしたときに、出雲保健管理センターや学生相談室をひとつの拠り所として思い浮かべていただけるような場所として機能させていきたいと考えている所存です。

これまでの私の臨床経験を活かし、出雲キャンパスにおられるすべての皆さまに対して、こころの健康が保たれていけるように尽力していく所存でございます。まだまだ若輩者ではございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

出雲保健管理センター 臨床心理士・公認心理師 原美貴

2024年1月より着任いたしました、臨床心理士・公認心理師の原美貴と申します。

この度ご縁があり、島根大学出雲保健管理センターにて、学生や大学職員、そして大学病院職員の方々の心理支援を担えることとなりましたことを、大変嬉しく思っております。

私は島根県内の心療内科・精神科の医療現場（こころの医療センターの前身である、島根県立湖陵病院を経て、出雲市内にある心療内科・精神科のエスポアール出雲クリニック）にて20年以上、患者の方々への心理療法、心理検査に従事してきました。また、時を同じくして、島根県立大学出雲キャンパスの非常勤カウンセラーとして、学生相談に従事してきました。

私自身が臨床心理士を目指したきっかけは、大学、大学院の恩師との出会いであり、その恩師が教育現場や大学学生相談において、臨床心理士として専門的な活動を行っていく姿に心動かされたからでした。人を育む場において、心理学的な視点から生徒・学生の言葉や気持ちを汲み、思いを馳せ、見守り支える専門家が存在することは、こころや身体を守り、個々にあわせた成長を育むことに広がりや深まりをもたらすのだなと感銘を受けました。また、学生相談に従事して

おられた臨床心理士の先生方の、相手に寄り添うような語りや受容的な立ち振る舞い、臨床心理学的な研鑽を積んだお人柄から生まれる機知にも、大変影響を受けました。

私自身が同先生方と同じように立ち振る舞えるとは思いませんが、医療現場で研鑽を積んできたことを糧に、多職種で連携することを念頭に置きつつ、現代の世相を把握し、島根大学出雲キャンパスの特徴を踏まえ、学生やそれを支える先生、職員の方々を支援することに、誠実に向き合っていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

目 次

活 動

【松江保健管理センター】

I : 学術研究活動	1
1. 学会・研究会参加	
2. 学会・研究会発表	
3. 著書	
4. 学術論文	
5. 報告書	
6. 学術雑誌査読	
7. 研究助成	
8. その他	
II : 教育活動	5
III : 社会貢献・講演	6
IV : 事業・業務	7
V : 保健管理部門	8
1. 学生健康診断	8
(1) 定期健康診断・事後措置	
(2) 特別健康診断(放射性同位元素 RI 等取扱者)	
(3) 特殊健康診断(特化物質・有機溶剤等使用者対象)	
(4) 臨時健康診断(体育系部活・サークルの健康診断)	
2. 松江保健管理センター利用状況	12
(1) 学生・職員等の健康相談等	
(2) 禁煙相談・支援窓口、禁煙外来	
(3) 留学生対応	
(4) ヘルシーキャンパス活動	
(5) 新型コロナウイルス感染症対応	
VI : 学生相談部門	16
1. 学生定期健康診断時のカウンセラー面接	16
2. 学生相談室利用状況	16
3. 支援活動報告	20
(1) 概要	
(2) 学生健康チェック	
(3) 学生相談室会議	
(4) 管理運営委員会	

(5) 緊急支援

VII : 教職員の健康管理	21
1. 教職員センター利用件数(再掲) (延べ数)	
2. 一般定期健康診断事後措置	
3. 特殊健康診断(特化物質・有機溶剤等使用者対象)	
4. 特別健康診断(放射性同位元素 RI 等取扱者)	
5. 高ストレス者産業医面談	
6. 就労支援	
7. 学外メンタルヘルス相談	
VIII : 広報・教育活動	23
1. 全学研修会	23
(1) ジェンダーに関する講演会	
(2) 飲酒に関する講演会	
2. 教職員対象の研修会	23
(1) 新任教員・新採用職員研修	
(2) 大学入試試験における感染症対策研修	
(3) e-ラーニングの実施	
3. 学生対象の研修会	23
(1) 新入生対象オリエンテーション	
(2) 入学時オリエンテーション「健康な学生生活を送るために」	
(3) 「薬物乱用の注意」「カルトへの注意」	
4. 保健管理センターのしおり発行	24
5. 松江保健管理センターホームページ	24
IX : その他の活動	24
1. 学内機関との連携	24
(1) 障がい学生支援室	
2. 学外機関との連携	24
(1) 島根県東部発達障がい者支援センター「ウィッシュ」	
(2) 若者サポートステーション(さぼステ)	
(3) しまね性暴力被害者支援センターさひめ	

【出雲保健管理センター】

I : 学術研究活動	25
1. 学会・研究会参加	
2. 学会・研究会発表	
3. 学術論文	
4. 報告書	
5. 研究助成	
II : 教育活動	28
III : 社会貢献・講演	29
IV : 事業・業務	30
1. 年間行事	
2. 年間を通しての業務	
3. 定期会議	
V : 保健管理部門	32
1. 学生定期健康診断	32
(1) 健康診断項目	
(2) 健康診断受診率	
(3) 健康診断結果の有所見者の人数及び割合	
(4) 健康診断有所見者への事後措置及び課題	
2. 出雲保健管理センター利用状況	35
3. 医学部生の感染症対策	37
(1) 新型コロナウイルス感染症対策	
(2) 小児4種感染症及びB型・C型肝炎の抗体等に関する検査及び予防接種	
(3) インフルエンザワクチン接種	
4. その他	40
VI : 学生相談部門	41
1. 学生相談室利用状況	
(1) 月別相談数(延べ数)	
(2) 相談者の属性と内容	
2. 入学時健康調査票	
3. 学生相談懇談会	
4. 学務課との連携	
5. 島根学生相談研究会	

VII : 産業保健部門	46
1. 教職員の保健管理	
2. 教職員への心理支援	
3. 産業医の業務	

資料

I : 目標と計画	49
II : 保健管理体制	51
1. 組織	
2. 構成	
3. 管理運営委員会委員	
4. 松江保健管理センター規程	
5. 出雲保健管理センター規程	
6. 島根大学学生相談室規程	
7. 医学部学生相談室規程	
III : 沿革	64

活 動

【松江保健管理センター】

I : 学術研究活動

1. 学会・研究会参加

2023年

5月	日本学生相談学会第41回大会（東京） Heart Failure 2023 (PTAGUE)	河野美江、執行三佳、 猪口かおり 杉原志伸
6月	島根県産業看護部会第84回研修会（松江市） 令和5年第1回治療と仕事の両立支援事例検討会（オンライン） 第23回日本抗加齢医学会総会	長廻久美子 長廻久美子 杉原志伸
7月	日本産婦人科医会性教育セミナー（オンライン）	河野美江
8月	第15回大山心臓リハビリテーション研究会（オンライン） 第53回中国四国大学保健管理研究集会（徳島市） 第42回学生相談研究会（出雲市）	杉原志伸 河野美江、杉原志伸、 小林沙世 河野美江、杉原志伸、 猪口かおり、小林沙世、 長廻久美子、執行三佳、 高橋朋子
9月	日本超音波医学会第59回中国地方学術集会（米子市） 第71回日本心臓病学会学術集会（東京） アルコール関連問題支援者研修会（オンライン） 第14回禁煙支援研修会（松江市）	杉原志伸 杉原志伸 長廻久美子 長廻久美子
10月	第61回全国大学保健管理研究集会（金沢市） 第27回日本心不全学会学術集会（横浜市） 第82回日本公衆衛生学会総会（筑波市） 島根県産業看護部会第85回研修会（松江市） 日本小児科医会第22回園・学校保健勉強会（松江市） 令和5年第2回治療と仕事の両立支援事例検討会（出雲市） 日本産業看護学会第12回学術集会（静岡市） 日本箱庭療法学会 第36回大会（オンライン）	河野美江、杉原志伸、 小林沙世 杉原志伸 杉原志伸 長廻久美子 河野美江 長廻久美子 長廻久美子 猪口かおり
11月	第123回日本循環器学会中国地方会・第9回日本心臓リハビリテーション 学会中国支部地方会（米子市） 令和5年度中国・四国地区国立大学法人等労働安全衛生協議会（岡山市）	杉原志伸 杉原志伸
12月	第45回全国大学メンタルヘルス学会（札幌市）	河野美江、猪口かおり 執行三佳
2024年		
2月	第57回日本痛風・尿酸核酸学会総会（鳥取市）	杉原志伸

3月	第28回島根県母性衛生学会	河野美江
	第88回日本循環器学会学術集会（神戸市）	杉原志伸
	GID（性同一性障害）学会 第25回大会（沖縄）	河野美江
	第25回フィジカルヘルスフォーラム（札幌市）	杉原志伸
	第43回島根学生相談研究会（松江市）	河野美江、杉原志伸 猪口かおり、小林沙世 長廻久美子、小林亮輔 執行三佳、高橋朋子

2. 学会・研究会発表

2023年

5月	「Nutritional status of patients with acute decompensated heart failure worsens with each rehospitalization」 <u>S.Sugigara</u> , K.Shirota,Heart Failure 2023
7月	「外科治療の選択に心配運動負荷試験が有用であった三尖弁閉鎖不全症の一症例」 須山朋子、 <u>杉原志伸</u> 、須山竜二、木下香織、北里詩穂里、井上義明、城田欣也 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会
8月	「大学における性の多様性への対応について」 <u>河野美江</u> 、猪口かおり、 <u>杉原志伸</u> 、 <u>執行三佳</u> 、 <u>小林亮輔</u> 、 <u>高橋朋子</u> 、 <u>小林沙世</u> 、 <u>長廻久美子</u> 、 <u>青木孝恵</u> 第53回中国四国大学保健管理研究集会 「東海大学における性暴力予防教育の取り組み」 渥美治世、小貫大輔、 <u>河野美江</u> 、柿添英文、土井美果、山本義郎、浅井さとみ 第42回日本思春期学会学術集会
9月	「急性心筋梗塞患者において大腿直筋厚は運動耐容能の層別化が可能な指標である」 須山竜二、 <u>杉原志伸</u> 、城田欣也 日本超音波医学会第59回中国地方学術集会 「急性心不全で入院を繰り返す患者の栄養状態の特徴」 <u>杉原志伸</u> 、城田欣也 第71回日本心臓病学会学術集会
10月	「自律的薬品の管理について」 <u>河野美江</u> 令和5年度国立大学保健管理施設協議会 「コロナ禍における大学生の健康感の経時的変化、及び罹患後症状の影響について」 <u>杉原志伸</u> 、 <u>小林紗世</u> 、 <u>長廻久美子</u> 、 <u>猪口かおり</u> 、 <u>河野美江</u> 第61回全国大学保健管理研究集会 「性教育の今～性の多様性といのちの安全教育」 <u>河野美江</u> 日本小児科医会第22回園・学校保健勉強会 「社会福祉学者が主体となる心不全患者の病院・診療所起点の地域連動型支援プログラムの開発」 <u>杉原志伸</u> 、城田欣也 第27回日本心不全学会学術集会 「Low activity and low SMI are characteristics of underweight female students」 <u>S.Sugihara</u> ,The 82th Annual Meeting of the Japanese Society of Public Health
11月	「Mini-Cogのサブ項目である時計描写試験は6ヶ月後の心不全再入院と関連する」 須山竜二、 <u>杉原志伸</u> 、須山朋子、北里詩穂里、城田欣也 第9回日本心臓リハビリテーション学会中国支部地方会
12月	「大学における性暴力被害者支援体制の構築研究班」活動報告 <u>河野美江</u> 、猪口かおり、 <u>執行三佳</u> 、大草亘孝、布施泰子、折橋洋介、岡本百合、清水幸登 第45回全国大学メンタルヘルス学会（札幌医科大学）

2024年

2月	「腎性低尿酸血症患者における腎機能の経時的変化」 <u>杉原志伸</u> 、山本康孝、寺本圭、浜田紀宏、宮崎聡、荻野和秀、桑原正成、太田原顕、水田栄之助、市田公美、加藤雅彦、山本一博、久留一郎 第57回日本痛風・核酸学会総会
----	--

3月 「GID学会医師会員における子ども、男性、性的マイノリティの性暴力被害者に対する医療的支援に関する調査」
河野美江、和田耕一郎、竹谷健、京哲、渥美治世、今井伸、山田浩史、尾花和子
安達知子、種部恭子 GID（性同一性障害）学会第25回研究大会

3. 著書

河野美江、執行三佳、猪口かおり、大草亘孝、布施泰子、折橋洋介、岡本百合、清水幸登
大学における性暴力被害者支援マニュアル. 2024年3月、18ページ、高浜印刷
河野美江、和田耕一郎、岩下義明、京哲、大草亘孝、尾花和子、竹谷健、渥美治世、小貫大輔
性暴力被害者のための医療的・法的ケアのためのガイドライン. 2024年3月、132ページ、高浜印刷
河野美江、大草亘孝、小貫大輔、渥美治世
性暴力への医療的・法的対応を強化する. 2024年 3月、高浜印刷
河野美江、大草亘孝、小貫大輔、渥美治世
医療的・法的ポリシーノート. 2024年 3月、高浜印刷
河野美江、大草亘孝、小貫大輔、渥美治世
医療的・法的ツールキットの背景報告書. 2024年 3月、高浜印刷

4. 学術論文

河野美江、執行三佳. 「性暴力被害を受けた学生の「回復」を促す支援について」
学生相談研究. 44 (1) 12-21、2023. 7
河野美江、猪口かおり、執行三佳、大草亘孝、布施泰子、折橋洋介、岡本百合、清水幸登
大学における性暴力被害学生への支援に関する研究. 大学のメンタルヘルス7. 57-64、2023. 12
河野美江. 島根県内医療機関における性暴力被害者への産婦人科医療支援について.
島根母性衛生学会雑誌27. 5-8、2023. 12
Miyazaki S, Hamada T, Isoyama T, Okada S, Tomita K, Endo Y, Kuwabara M, Sugihara S, et al.
Characterization of Urate Metabolism and Complications of Patients with Renal Hypouricemia.
I. Intern Med. 2023;62:1915-1920.
Miake J, Hisatome I, Tomita K, Isoyama T, Sugihara S, et al.
Impact of Hyper- and Hypo-Uricemia on Kidney Function. Biomedicines. 2023;24:11:1258
Suyama T, Sugihara S, et al. The Clock-Drawing Test as a Useful Screening Assessment of
Preoperative Cognitive Impairment with Readmission After Transcatheter Aortic Valve Implantation
Yonago Acta Med. 2023;66:345-354.

5. 報告書

河野美江、猪口かおり、杉原志伸、小林沙世、長廻久美子、執行三佳、小林亮輔、高橋朋子、青木孝恵. 「大学における性の多様性への対応について」
第53回中国四国保健管理研究集会報告書、94-96、2023. 12
杉原 志伸、小林 紗世、長廻 久美子、猪口 かおり、河野 美江
コロナ禍における大学生の健康感の経時的変化、及び罹患後症状の影響について
全国大学保健管理研究集会報告書、 2023:10

6. 学術雑誌査読

杉原志伸 「総合保健科学」9月

7. 研究助成

- 河野美江 令和2年度~令和5年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)
「性暴力被害を受けた学生の『回復』を促す支援マニュアルの作成」
(課題番号20K03460、研究代表者 河野美江)
- 河野美江 令和4年度~令和6年度 こども家庭科学研究費補助金 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
(健やか次世代育成総合研究事業))
「DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究」
(課題番号22SA1001、研究代表者 河野美江)
- 杉原志伸 科学研究費助成事業基礎研究(C)令和4年度~令和6年度 基盤研究◎
「若年女性の低体重者に対する体格の適正化を狙いとした包括的運動プログラムの構築」
(課題番号22K11776 研究代表者 杉原志伸)
- 河野美江 令和5年度~令和7年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)
「大学生の月経前症候群と月経前不快気分障害の潜在的有病率・知識・意識に関する研究」
(課題番号23K095701B 研究代表者 茨城大学 布施泰子)
- 杉原志伸 2023年度島根大学女性研究リーダー育成支援事業 (共同研究型)「若年女性アスリート
におけるアスリートの三徴の実態調査、及び下腿最大周囲径との関連」研究代表者

8. その他

・マスコミ

- 河野美江 2023. 4. 18 ストップ・ザ性暴力 NHK 松江放送局ニュース
2023. 6. 8 男性の性被害 読売新聞全国版
2023. 7. 5 m3 会議報告 性暴力被害者への医療支援
2023. 9. 6 男性の性暴力被害の医療支援について AbemaTV アベマ倍速ニュース
2023. 11. 1 性暴力被害を受けた人の支援拠点 朝日新聞digital

Ⅱ：教育活動

河野美江

健康・スポーツ科学概論（基礎教育）
ジェンダー（共通教養）
病態治療学（専門教育）
個を大切にするための心理学（専門教育）
健康科学概論(医学部)

杉原志伸

健康・スポーツ科学概論（基礎教育）
酒一杯の酒から覗く学問の世界（基礎教育）
医学概論（専門教育）
人体の構造と機能及び疾病（専門教育）
病態治療学（専門教育）
地域包括ケア概論(専門教育)
健康科学概論（医学部専門教育）

猪口かおり

CS基礎（基礎教育）

Ⅲ：社会貢献・講演

河野美江

全国大学メンタルヘルス学会理事
全国大学保健管理協会評議員
全国大学保健管理施設協議会メンタルヘルス委員会委員
島根県母性衛生学会理事
島根県健康相談アドバイザー
島根県男女共同参画審議会委員
島根県スポーツ協会専門委員会委員
島根県人権施策推進協議会委員
松江市医師会学校保健部委員
一般社団法人しまね性暴力被害者支援センター理事・事務局長
○講演
2023.7「性暴力被害者への支援」
公認心理師協会主催研修会
2023.7「子ども・若年層の性被害について」
内閣府ヒアリング
2023.11「あらためて『性』の基礎知識を学ぶ」
大阪府臨床心理士会合同研修会
○その他
中学校3校、大学等4校、教員等専門職5回、NP0等8回、一般2回

杉原志伸

日本内科学会 中国支部評議員
日本循環器学会 中国支部評議員
日本循環器学会 禁煙推進部会委員
日本心不全学会 代議員
日本心臓病学会 心臓病上級臨床医 (FJCC)
国立大学保健管理施設協議会 国際交流推進特別委員会委員
大学における健康診断・健康関連情報の標準化と利活用に関わる調査委員会委員
松江市たばこ対策推進会議委員
松江市自死対策事業検討委員
松江工業高等専門学校倫理委員会委員
○講演等
2023.10 「ストップ!No卒中」第35回全国健康福祉祭ねんりんピック 講師
2024.3 「スポーツ関連の疾病について」
令和5年度スポーツ医・科学サポート事業 栄養士スタッフ研修会

小林亮輔

島根県臨床心理士・公認心理師協会 倫理委員
島根リハビリテーション学院「心理学」講義
島根県立宍道高等学校「カウンセリング心理学」講義
島根県警察本部少年女性対策課スーパーアドバイザー
松江市個別地域ケア会議アドバイザー
安来市個別地域ケア会議アドバイザー
雲南市いじめ問題対策委員会 委員
雲南市いじめ問題調査委員会 委員

○講演

2023.7「メンタルヘルス研修」かなで保育園職員対象

2023.8「高齢者と子どものこころ」松江3中地区民生児童委員合同研修会

2023.11「コミュニケーションと心理的安全性」島根県庁一般職員対象メンタルヘルス研修

2023.12「スクールカウンセラーが考える子育て」松江市PTA連合会総会

2024.1「スクールカウンセラーが考える子育て」島根県相談機関連絡会議

執行三佳

島根リハビリテーション学院「臨床心理学」講義

IV：事業・業務

月	事業・業務
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時定期健康診断（新入生） ・入学式救護 【4～5月】定期健康診断（在学生・留学生） 【4～7月】定期健康診断事後指導・措置（新入生・在学生・留学生）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・特別健康診断（RI取扱者 学生・職員）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・学生健康チェック
7月	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第53回中国四国大学保健管理研究集会（徳島大学） ・特殊健康診断
9月	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第60回全国大学保健管理研究集会（金沢大学） ・保健管理センターパンフレット発行 ・秋入学留学生健診 【10～1月】学部との学生相談連携会議
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・特別健康診断（RI取扱者 学生・職員） ・公開授業「多様な性と生」佐藤みどり氏 ・推薦入学試験救護
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業「酒と健康」島根県断酒新生会会員、家族 ・学生健康チェック
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト救護
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学力試験（前期日程）救護 ・特殊健康診断
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学力試験（後期日程）救護

V : 保 健 管 理 部 門

1. 学生健康診断

(1) 定期健康診断・事後措置

健康診断項目

項目	学年等	学 部		大 学 院		留学生
		1 年	2 年以上	1 年	2 年以上	
計 測		○	○	○	○	○
血 圧		○	○	○	○	○
内 科		○	○	○	○	○
胸部X線		○	該当者・ 希望者	○	該当者・ 希望者	○
尿 検 査		○	—	○	—	—
WEB 問 診		○	○	○	○	○

定期健康診断受診率

学部

		1 年 生		2 年 生		3 年 生		4 年 生		5 年 生 以 上	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
法 文	対象者数	83	100	85	102	96	109	86	106	29	16
	受診者数	83	100	41	56	50	71	38	62	5	4
	受診率(%)	100	100	48.2	54.9	52.1	65.1	44.2	58.5	17.2	25.0
教 育	対象者数	61	79	56	86	63	72	58	76	18	6
	受診者数	61	79	56	82	60	69	42	72	6	4
	受診率(%)	100	100	100	95.3	95.2	95.8	72.4	94.7	33.3	66.7
人 間 科 学	対象者数	23	59	20	61	21	65	21	64	6	9
	受診者数	23	59	16	47	17	62	10	46	2	1
	受診率(%)	100	100	80.0	77.0	81.0	95.4	47.6	71.9	33.3	11.1
総 合 理 工	対象者数	306	73	322	84	339	88	340	85	79	7
	受診者数	302	70	126	44	155	52	174	54	16	4
	受診率(%)	98.7	95.9	39.1	52.4	45.7	59.1	51.2	63.5	20.3	57.1
材 料 工 学 部	対象者数	64	22	—	—	—	—	—	—	—	—
	受診者数	64	22	—	—	—	—	—	—	—	—
	受診率(%)	100	100	—	—	—	—	—	—	—	—
生 物 資 源	対象者数	123	81	115	84	132	87	121	96	25	13
	受診者数	121	81	41	55	66	60	52	55	3	1
	受診率(%)	98.4	100	35.7	65.5	50.0	69.0	43.0	57.3	12.0	7.7
計	対象者数	660	414	598	417	651	421	626	427	157	51
	受診者数	654	411	280	284	348	314	316	289	32	14
	受診率(%)	99.1	99.3	46.8	68.1	53.5	74.6	50.5	67.7	20.4	27.5

大学院

		1年生		2年生		3年生	
		男	女	男	女	男	女
人文社会科学研究科	対象者数	—	—	0	2	—	—
	受診者数	—	—	0	0	—	—
	受診率(%)	—	—	0	0	—	—
人間社会科学研究科	対象者数	11	18	10	18	—	—
	受診者数	10	17	6	14	—	—
	受診率(%)	90.9	94.4	60.0	77.8	—	—
教育学研究科・ 教職大学院	対象者数	12	9	10	11	0	1
	受診者数	11	3	6	6	0	1
	受診率(%)	91.7	33.3	60.0	54.5	0.0	100
総合理工学研究科 (博士後期課程)	対象者数	—	—	—	—	3	1
	受診者数	—	—	—	—	0	1
	受診率(%)	—	—	—	—	0	100
自然科学研究科 (博士前期課程)	対象者数	144	49	142	55	—	—
	受診者数	130	39	57	24	—	—
	受診率(%)	90.3	79.6	40.1	43.6	—	—
自然科学研究科 (博士後期課程)	対象者数	12	4	5	4	8	2
	受診者数	4	1	1	1	3	1
	受診率(%)	33.3	25.0	20.0	25.0	37.5	50.0
計	対象者数	179	80	167	90	11	4
	受診者数	155	60	70	45	3	3
	受診率(%)	86.6	75.0	41.9	50.0	27.3	75.0

連合大学院農学研究科：男子7名、女子5名

研究生、科目等履修生：男子23名、女子41名

事後措置

○結核検診（胸部X線撮影）

第一学年（入学年度）と実習のある学生、留学生を対象として健康診断時の胸部X線検査を実施している。ただし、結核問診の有所見者および医師が必要と判断した場合は対象に加えた。胸部X線有所見者には専門医療機関を紹介している。

受検者数		2,368
要精密検査者数		27
精密検査受験者数		27
精密検査結果	異常なし	22
	要観察	5
	要治療	0

○血圧

健診当日、自動血圧計で2回測定し、どちらも高値（収縮期血圧 140 mmHg and/or 拡張期血圧 90 mmHg）を示した学生は、後日二次健診を行っている。二次健診でも血圧高値であった対象者を高血圧者とした。

二次健診の対象となった血圧高値者

	男子	女子
対象者数	181	42
受検者数	151	35
高血圧数(%対受検者)	65(43.0)	9(25.7)

○尿検査

学部・大学院新生全員を対象に尿検査を施行している。有所見(陽性)者には、精密検査受診を勧奨し、医療機関を紹介している。

・新入生（学部）

	受検者	要精密検査者			精密検査受診者
		蛋白	糖	潜血	
男	577	0	2	4	0
女	375	0	1	4	1

・新入生（大学院）

	受検者	要精密検査者			精密検査受診者
		蛋白	糖	潜血	
男	95	0	0	2	2
女	41	0	0	0	0

(2) 特別健康診断(放射性同位元素 RI 等取扱者)

島根大学職員安全衛生管理規程第 23 条及び、島根大学総合科学研究支援センター遺伝子機能解析分野 RI 実験施設放射線障害予防規則第 18 条の規定により、放射線業務従事者の健診を年 2 回実施している。

1. 対象者：放射線・RI 取扱学生、教職員
2. 検査項目：①全身の自覚症状に関する問診
 - ② 皮膚・眼球・爪の性状などの視診
 - ③ 一般血液検査（松江赤十字病院）

		5～7 月	11 月
新規登録者	学生	18	10
	職員	6	0
既登録者	学生	28	0
	職員	36	42
計		88	52
要精密検査者		0	0

(3) 特殊健康診断（特化物質・有機溶剤等使用者対象）

健康障害の予防及び健康障害の早期発見を目的として教員に追加して学生に対しても特殊健康診断を8月～9月に実施している。但し、未受診者は2月の健診受診を勧奨している。

検査項目別受診者数（件数）

学 部	有機溶剤	特定化学物質	特定業務	合計
教育学部	0	0	0	0
総合理工学部	21	17	1	39
生物資源科学部	0	0	3	3
自然科学研究科	25	21	6	52
合計	46	38	10	94

(4) 臨時健康診断（体育系部活・サークルの健康診断）

大学を代表して対外試合に出場するスポーツ選手や、強化合宿、体育実技、各クラブ活動の合宿などに対応して臨時健康診断を実施しているが、2023年度の申し込みはなかった。

2. 松江保健管理センター利用状況

(1) 学生・職員等の健康相談等

保健管理センター利用内訳（延べ数）

		学生	留学生	職員	その他	合計
測定・検査	酸素飽和度測定	60	1	10	8	79
	身体測定	7	6	0	0	13
	体組成測定	202	1	32	0	235
	血圧・脈拍測定	255	9	45	8	317
	体温測定	51	1	6	8	66
	尿検査	13	1	0	0	14
	その他	14	0	1	0	15
診察・健康相談	内科系	341	13	23	3	380
	外科系	12	5	3	0	20
	禁煙外来	12	0	1	0	13
	動脈硬化相談外来	0	0	0	0	0
	母性相談	43	1	0	0	44
	栄養相談	7	1	0	0	8
	ミニレクチャー	0	0	0	0	0
	健診事後措置	331	17	2	1	351
	保健・生活指導他	878	76	111	17	1,082
	連携・会議	23	1	406	93	523
	コロナ対応	26	1	14	0	41
	その他	124	15	55	8	202
精神保健		470	7	68	24	569
産業保健		0	0	620	1	621
処置	投薬	341	6	21	0	368
	外傷処置	65	13	8	1	87
	休養室利用等	69	4	13	3	89
	リックス室利用	90	0	0	0	90
専門医紹介	内科系	137	22	9	3	171
	外科系	68	24	6	2	100
	精神科	12	2	0	0	14
	婦人科	15	1	0	0	16
	その他	13	1	1	1	16
往診		34	1	4	3	42
救急車搬送		6	0	1	0	7
健康診断証明書(個別対応) ・紹介状発行		53	8	2	1	64
健康診断証明書(自動発行機)		(1,986)	(40)			(2,026)
合計		3,772	238	1,462	185	5,657

- ・学生は学部・大学院・研究生等で，その他は卒業生・家族等である。 ※（ ）内数字は合計に含まず
- ・定期健康診断受検者数は含まない。

保健管理部門月別件数（延べ数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学生	293	244	323	136	62	61	161	114	113	81	97	76	1,761
院生	50	45	29	23	18	42	34	35	28	14	18	17	353
留学生	14	16	19	13	5	6	24	2	12	7	14	6	138
研究生等	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4
職員	17	43	71	67	47	92	94	68	50	49	42	49	689
家族	6	12	7	14	16	2	8	10	10	7	11	7	110
その他	3	3	1	2	7	0	8	1	0	2	2	9	38
合計	384	364	450	255	155	204	329	230	213	160	184	165	3,093

精神保健相談内容男女別件数（延べ数及び実数）

		延べ数合計	実数合計
学部	法文学部	78	36
	教育学部	36	18
	総合理工学部	140	62
	生物資源科学部	63	30
	人間科学部	66	24
	材料エネルギー学部	3	2
	小計	386	172
大学院	人文社会科学研究科	2	0
	教育学研究科	24	6
	自然科学研究科	54	25
	総合理工学研究科	0	0
	人間社会科学研究科	1	2
	連合大学院農学研究科	0	0
	研究科不明	3	3
小計	84	36	
留学生		7	5
研究生等		0	0
職員		67	33
家族		25	24
その他		0	0
合計		569	270

(2) 禁煙相談・支援窓口、禁煙外来

無料の保健師による禁煙相談、医師による禁煙外来・禁煙補助薬処方（ニコチンパッチ）を実施している。2023年は教職員・学生合わせて3名（延べ16回）の支援を実施した。また、禁煙成功者の体験談を本人同意の上、松江保健管理センターHPに掲載し、禁煙運動の周知を行っている。



学生さんの禁煙成功体験

(3) 留学生対応

留学生に対して、健康診断問診表の英語版の作成、英語での診察、他医療機関受診時の通訳案内、サマースクールや秋入学の新入生への英語でのオリエンテーション資料の作成を行っている。2023年度は年間延べ238名の留学生対応を行った。

(4) ヘルシーキャンパス活動

①教職員対象 健康イベント：松江キャンパスでは教職員対象の高ストレス者が毎年約10%で年々増加傾向にある。その対策として教職員が対面で軽い運動をしながらコミュニケーションを取れる場として令和5年度から健康イベントを開催している。イベントは島根大学健康イベントチーム（教員3名、保健師2名、事務員3名）を結成し実施している。

令和5年度活動内容

回数	日付	テーマ	講師等	参加数
1	6/20	ボッチャを楽しもう	学部教員	11名
2	9/26, 27	健康チェック (血管年齢、体組成、脚筋力、握力測定)	保健管理センター	32名
3	10/31	太極拳を楽しもう	中国出身留学生 通訳：教員	7名
4	11/9	ウォーキングを楽しもう	保健管理センター	4名
5	11/30	ピラティスを楽しもう	学部教員、学部生	7名
6	12/26	卓球を楽しもう	学部教員	10名
7	1/25	ヨガを楽しもう	インド出身留学生 通訳：教員	6名

参加者のアンケートから、9割以上の参加者の高い満足度を得ることができ、学内での実施の意義があったと考える。

②学生・教職員対象 ウォーキングイベント：11月には全国保健管理協会と共催で学生・教職員を対象に「ウォーキングチャレンジ」を実施し、80名の参加者があった。本学参加者の1日平均歩数は7,185歩で、全体39団体中では16位であった。大学FBやX、学内掲示板、保健管理センターHP上で情報発信や上位者への表彰を行った。



【教職員・学生対象】ウォーキングチャレンジ2023「みんなで月まで歩こう！」登録締め切



ウォーキングチャレンジの表彰式を行いました！

③**学生対象 一次救命処置講習会、熱中症講習会**：一次救命処置の中でも最も重要な胸骨圧迫と AED の使い方の習得を目標に、PUSH コース講習会を 3 回実施した。また、近年、熱中症による学生の事故が増加しており、その対策として、熱中症対策講習会も 1 回実施し、HP 上でも注意を呼び掛けた。

(5) 新型コロナウイルス感染症対応

令和 5 年 5 月 8 日付で新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が 5 類に見直されることに伴い、島根大学では制限を設けず通常に対応を行うこととなった。松江保健管理センターとしては、対応件数のカウントを終了し、基本的な感染対策の周知や体調不良時の対応、情報提供を引き続き行っていくこととした。



「PUSH講習会+熱中症講義」を実施しました

VI：学生相談部門

1. 学生定期健康診断時のカウンセラー面接

新入生を対象とする健康診断時に、医師による問診や事前スクリーニングにおいてメンタルヘルス不調と判断された学生に対し、会場に待機するカウンセラーが短時間の面接を行っている。

新入生健診時のカウンセラー面接実施者数

	所属	(人)
学部	総合理工学部	32
	法文学部	18
	教育学部	10
	生物資源科学部	21
	人間科学部	18
	材料エネルギー	11
	計	110
大学院		23
合計		133

また、上回生においては、健診後必要な学生に電話面接を実施した。

上回生健診時のカウンセラー面接実施者数

	所属	(人)
学部	総合理工学部	10
	法文学部	11
	教育学部	7
	生物資源科学部	11
	人間科学部	8
	計	47
大学院		6
合計		53

2. 学生相談室利用状況

月別相談数（延べ数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学生	163	261	219	190	125	137	181	155	138	122	101	102	1894
院生	17	20	41	32	34	22	29	27	30	34	23	28	337
留学生	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
研究生等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員	44	38	36	35	42	36	24	19	25	30	33	35	397
家族	17	26	18	18	15	18	21	10	11	13	5	10	182
その他	2	1	0	0	2	0	0	1	2	0	0	1	9
合計	244	346	314	275	218	213	256	212	207	199	162	176	2,822

学部別男女別内訳（延べ数）

	所属	延べ数合計	実数合計
学部	法文	309	68
	教育	154	48
	総合理工	632	142
	生物資源	393	82
	人間科学	369	62
	材料エネルギー	37	14
	小 計	1894	416
大学院	人文社会科学研究科	1	0
	教育学研究科	74	6
	自然科学研究科（前期課程）	207	40
	総合理工学研究科（後期課程）	22	0
	自然科学研究科（後期課程）	0	0
	医学系研究科	0	0
	人間社会科学研究科	33	6
	連合大学院農学研究科	0	0
小 計	337	52	
	留学生	3	3
	研究生等	0	0
	職員	397	121
	家族	182	74
	その他	9	9
	合 計	2822	675

相談内容の内訳（延べ数）

所属等		修学 進路	対人 関係	心身 健康	学生 生活	心理 性格	家族 家庭	ハラ スメン ト	コン サルテ ーショ ン	連 携会 議	緊 急支 援	発 達	L G B T	イ ンテ イク	そ の他	カ ウン セリ ング	合 計	
学部生	法文	男	25	7	27	23	7	1	0	0	1	0	8	0	0	8	1	108
		女	12	6	109	41	17	1	1	1	0	1	0	0	0	10	2	201
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	教育	男	8	3	5	2	17	0	4	0	0	0	1	0	0	3	1	44
		女	7	5	30	36	8	2	10	0	0	0	1	3	0	6	0	108
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	総合理工	男	104	8	105	195	8	0	6	0	2	3	12	1	0	34	1	479
		女	14	7	50	35	8	2	0	0	4	2	4	2	0	14	0	142
		他	2	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	11
	生物資源	男	51	11	32	82	5	0	2	0	0	0	4	0	0	13	2	202
		女	15	9	76	54	5	4	0	0	3	3	1	2	0	15	1	188
		他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3
	人間科学部	男	13	2	24	34	8	1	0	0	1	0	1	0	0	7	0	91
		女	27	16	131	60	24	4	0	0	1	0	2	0	0	5	3	273
		他	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	5
	材料エネルギー 学部	男	0	3	0	7	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	13
		女	0	1	4	15	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	24
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	男	201	34	193	343	45	2	12	0	4	5	27	1	0	66	5	938
		女	75	44	400	241	62	13	11	1	8	9	8	7	0	51	6	936
		他	3	0	1	4	0	0	0	1	0	0	0	11	0	1	0	21
大学院生	人文社会学研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	教育学研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	3	2	60	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	1	74
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然科学研究科 (前期課程)	男	29	5	71	34	8	1	2	0	2	0	1	2	0	4	0	159
		女	7	3	14	16	2	1	0	0	0	1	2	0	0	2	0	48
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総合理工学研究科 (前期課程)	男	3	2	9	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	21
		女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	自然科学研究科 (後期課程)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生物資源科学研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医学研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人間社会研究科	男	2	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
		女	0	2	14	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	26
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	連合大学院 農学研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	男	34	8	82	38	11	2	3	0	2	0	1	2	0	4	0	187
		女	10	7	90	23	5	1	2	0	1	1	2	0	0	5	3	150
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
留学生	男	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
研究生	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	男	0	0	0	0	0	0	0	48	219	47	0	0	0	1	0	315	
	女	0	0	7	0	1	0	0	24	44	4	0	0	0	2	0	82	
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
家族	男	0	0	0	0	0	0	0	4	39	1	0	0	0	0	0	44	
	女	0	0	0	0	0	1	0	22	107	5	0	0	0	3	0	138	
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	男	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1	0	6	
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	男	235	42	275	382	56	4	15	52	267	53	28	3	0	71	5	1488	
	女	85	51	498	264	68	15	13	47	162	21	10	7	0	63	9	1313	
	他	3	0	1	4	0	0	0	1	0	0	0	11	0	1	0	21	

3. 支援活動報告

(1) 概要

2023 年度学生相談

- ・学生相談・精神保健件数はコロナ禍の 2021, 2021 年度より減少した。
- ・保健管理センターで投薬開始し、精神科クリニックに早期に紹介した学生が多い。配慮を希望され、障がい学生支援室へ紹介した例も多かった。
- ・教員からの「気になる学生」紹介数は減少傾向にある（105 件）。

(2) 学生健康チェック

学生が自分の状態をチェックでき、不安なことがある場合は保健管理センターに相談できるように「学生健康チェック」を行っている。

2023 年には、全国的に自死の多い 9 月に行った。回答があった 128 名中、不安があると答えたのは 35 名で、身体的な不安 14 名、こころの不安 15 名、修学の不安 22 名であった（重複あり）。回答者全員に保健管理センターから連絡し、面接につなげた。

(3) 学生相談室会議

各学部の室員および学生相談室スタッフによる会議であり、活動報告と今後の支援の全体像について検討を行っている。

第 1 回会議 2023 年 9 月 8 日

第 2 回会議 2024 年 3 月 1 日

(4) 管理運営委員会

担当理事、管理運営委員、保健管理センター教員による会議であり、保健管理や組織運営委に関する基本方針、人事、予算及び概算、事業計画の策定及び実施、その他について話し合った。

第 1 回会議 2023 年 6 月 22 日

第 2 回会議 2023 年 9 月 13 日

第 2 回会議 2024 年 1 月 30 日

(5) 緊急支援

緊急支援対応を要する事例 6 件に対し、当事者へのサポート、友人学生へのこころのケア、関係教職員へのコンサルテーションを行った。

Ⅶ：教職員健康管理

1. 教職員センター利用件数（再掲）（延べ数）

身体測定等	診察・健康相談	処置	精神保健	産業保健(*)	その他	合計
94	602	42	68	620	23	1,462

産業保健(*)対応件数年推移

年度	平成30年度	令和元2年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件数	109	203	313	555	710	620

産業保健に関する対応件数が年々増加しており、個別対応以外に安全衛生委員会、人事労務課、所属部局と連携しながら対策を検討している。

2. 一般定期健康診断事後措置

令和5年度の教職員対象の健診受診率は96.8%であった。有所見者に対して受診勧奨二次や健診、他院への紹介を行った。

健康診断受診率推移

年度	受診率 (%)
平成25年度	97.9
平成26年度	97.7
平成27年度	98.0
平成28年度	97.8
平成29年度	98.0
平成30年度	95.5
令和元年度	95.3
令和2年度	98.3
令和3年度	97.8
令和4年度	94.6
令和5年度	96.8

3. 特殊健康診断（特化物質・有機溶剤等使用者対象）

該当教員の受診率は100%であった。有所見者は3名に対して受診勧奨や二次健診、他院への紹介を行った。

4. 特別健康診断（放射性同位元素 RI 等取扱者）

該当職員は84名であったが、要精密検査該当者はいなかった。

5. 高ストレス者産業医面談

令和5年度の教職員のストレスチェックの受講率は87.2%であった。松江地区での高ストレス者92名の内14名(15.4%)と産業医面談を行った。また、令和4年度からは高ストレス者の集団分析を実施し、リスクの高い部署の管理者と面談を行い、具体的な対策を検討した。その他、面談結果を事業者に報告する必要のない、内科医診察やカウンセラーによる職場内相談も同時に行った。

松江地区受診率等推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受検率(%)	94.7	88.7	83.0	87.2
高ストレス者率(%)	9.4	10.1	13.5	12.3
産業医面談受診率(%)	6.3	6.5	10.3	15.4

6. 就労支援

令和5年度の松江地区での就労制限者18名、病休・および休職者15名に対して人事労務課や担当部署と連携し、定期面談、復職サポート、復職判定会議を実施した。

7. 学外メンタルヘルス相談

教職員がカウンセリングを受けたいと希望しても学内の保健管理センターでは相談しにくい、とためらう場合も多いため、学外メンタルヘルス相談機関が設置され、教職員は5回まで無料で利用できるサービスが開始、継続となっている。

VIII : 広報・教育活動

1. 全学研修会

(1) ジェンダーに関する講演会

2023年11月17日に松江保健管理センターとダイバーシティ推進室との共催で、教養教育課目「ジェンダー」の講義を公開講座として実施し211名（うち教養講義受講者約206名）の参加があった。講師として当事者の佐藤みどりさんに「多様な性と生」の講演をいただいた。

(2) 飲酒に関する講演会

2023年12月8日松江保健管理センターと島根県立心と体の相談センター主催で令和5年度アルコール関連問題地域セミナー、島根大学公開授業「酒と健康」を対面とオンデマンドのハイブリット形式で実施し47名の参加があった。保健管理センター杉原医師の講義と島根県断酒新生会の会員と会員家族から「アルコール依存症と回復へのみちのり」の内容で体験談をお話いただいた。また、本講演会は動画で記録し医学部1年対象の健康科学概論授業で120名の学生が視聴した。

2. 教職員対象の研修会

(1) 新任教員・新採用職員研修

2023年4月3日に「島根大学における学生支援」について研修を行った。

(2) 大学入試試験における感染症対策研修

新型コロナウイルス感染症予防対策として2021年に作成した「新型コロナウイルス感染症予防対策～個人防護具について～」（HP公開）、ノロウイルス感染症対策として2020年に作成した「ノロウイルス感染症対策～嘔吐物処理・消毒方法～」（HP公開）を改めて周知した。

(3) e-ラーニングの実施

8月より学生対応に関するe-ラーニング「大学における性暴力への対応～被害者支援から予防まで」を行い、99.7%以上の教職員が視聴した。

3. 学生対象の研修会

(1) 新入生対象オリエンテーション

新入生に対しては入学前より保健管理センターの紹介を作成しHPやMoodleで公開し情報の周知を行った。

(2) 入学時オリエンテーション「健康な学生生活を送るために」

総合理工学部のCS基礎において、新入生を対象とする授業として、大学生活におけるメンタルヘルス上の課題や相談先の紹介やメンタルヘルスの維持に関する心理教育を行った。

(3) 「薬物乱用の注意」「カルトへの注意」

ほぼ全員の新入生が受講する一般教養「健康スポーツ」の授業内で「健康な学生生活のために」と題して薬物乱用やカルトへの注意喚起を行った。

また、カルトに関しては合格通知に新入生及び保護者宛にカルト集団の勧誘に注意する旨の文書を同封した。

4. 保健管理センターのしおり発行

保健管理センターのしおりを作成し新入生、保護者、学内等に配布している。

5. 松江保健管理センターホームページ

HPでは保健管理部門、学生相談部門に分けて活動の紹介を行っている。センターの活動や健康に関する情報を随時TOPページに掲載し、留学生への対応として英語でのページも作成している。

1年間でおよそ6万件のアクセスがあった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
アクセス数	7,604	3,065	2,668	4,710	5,232	7,074	4,142	3,342	3,724	5,168	5,990	9,176	65,198

IX：その他の活動

1. 学内機関との連携

(1) 障がい学生支援室

保健管理センター・学生相談室に相談のあった学生のうち、障がいに対する大学での合理的配慮を希望する学生や保護者を紹介している。また、障がい学生支援室に相談のあった学生のうち、心身の不調を伴う学生の紹介を受け、支援を行っている。

2. 学外機関との連携

(1) 島根県東部発達障がい者支援センター「ウィッシュ」

アセスメントや就職支援等必要な学生に対し、連携して支援にあたっている。

(2) 若者サポートステーション（さぼステ）

アセスメントや就職支援等必要な学生に対し、連携して支援にあたっている。

(3) しまね性暴力被害者支援センターさひめ

性暴力被害に遭った学生に対し、しまね性暴力被害者支援センターさひめを紹介し、必要に応じて各種相談等における連携を図っている。

活 動

【出雲保健管理センター】

I 学 術 研 究 活 動

1. 学会・研究会参加

2023 年

5 月	島根県高齢者福祉課連絡協議会	和田葉子
	島根県障がい福祉課自死総合対策第 1 回連絡協議会	和田葉子
6 月	第 119 回日本精神神経学会学術総会（オンライン）	和氣 玲
	日本ユング心理学会第 11 回大会	大野晋平
7 月	第 70 回山陰精神神経学会	和氣 玲
	島根県精神科医懇話会 7 月例会	和氣 玲
	島根県臨床心理士・公認心理師協会基礎研修会	和田葉子
8 月	島根県精神保健福祉協会理事評議委員会（オンライン）	和田葉子
9 月	島根県臨床心理学研究会主催特別研修会（オンライン）	和氣 玲
	厚生労働省心の健康づくり対策事業心のケア相談研修（オンライン）	和田葉子
	日本臨床心理士会災害支援担当者会議（オンライン）	和田葉子
	島根県障がい福祉課自死総合対策第 2 回連絡協議会	和田葉子
10 月	第 38 回日本老年精神医学会（オンライン）	和氣 玲
	島根県臨床心理士・公認心理師協会医療保健部会	和田葉子
	島根県エイズ派遣カウンセラー事業研修会	
11 月	第 63 回中国・四国精神神経学会	和氣 玲
	第 63 回日本児童青年精神医学会総会	和氣 玲
	一般社団法人日本臨床心理士会全国会長会議（オンライン）	和田葉子
	島根県臨床心理士・公認心理師協会司法矯正部会研修会	和田葉子
	島根県教育庁教育指導課子ども安全支援室連絡会	和田葉子
	島根県青少年家庭課連絡会	和田葉子
12 月	第 39 回日本老年精神医学会生涯教育講座（オンライン）	和氣 玲

2024 年

2 月	令和 5 年度第 2 回 HIV/AIDS 専門カウンセラー研修会	原 美貴
	島根県災害時精神保健医療体制運営委員会（オンライン）	和田葉子
	島根県 DPAT 研修（オンライン）	和田葉子
	公益財団法人日本公認心理師協会全国会長会議（オンライン）	和田葉子
	日本箱庭療法学会 2023 年第 2 回研修会	大野晋平
3 月	島根県臨床心理士・公認心理師協会学校臨床部会継続研修拡大会（オンライン）	和田葉子
	日本臨床心理士会中国四国ブロック災害支援担当者会議（オンライン）	和田葉子
	島根県臨床心理学研究会主催特別研修会	原 美貴 大野晋平

2. 学会・研究会発表

2023年

- 5月 「咽喉頭異常感に対して漢方薬を使用した1症例」
長濱道治、河野公範、山内真喜夫、飯島慶郎、槻宅雅史、林真一郎、林茉衣、正岡浩、三原靖葉、伊藤司、佐藤皓平、錦織光、山下智子、林田麻衣子、岡崎四方、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊
第27回島根中医学会
- 6月 「修正型電気けいれん療法が嚥下機能の改善に寄与したと考えられるレビー小体病の一例」
三原靖葉、長濱道治、林茉衣、林真一郎、正岡浩、槻宅雅史、伊藤司、佐藤皓平、錦織光、山下智子、河野公範、大拙孝治、林田麻衣子、岡崎四方、和氣玲、稲垣正俊、安田英彰
第119回日本精神神経学会学術総会
「ボルチオキセチンで薬剤性SIADHを生じた高齢うつ病患者の一例」
槻宅雅史、大拙孝治、伊藤司、佐藤皓平、錦織光、山下智子、長濱道治、岡崎四方、和氣玲、稲垣正俊 第119回日本精神神経学会学術総会
「発達障害と愛着障害の呈する言動の鑑別についての検討」
稲垣卓司、和氣玲 第119回日本精神神経学会学術総会
「いくつもの外傷体験を抱える女性との心理療法過程」
大野晋平 日本ユング心理学会第11回大会ワークショップ
- 7月 「予防接種ストレス関連反応が疑われた2症例」
山下智子、伊藤司、山内真喜夫、飯島慶郎、槻宅雅史、林真一郎、林茉衣、正岡浩、三原靖葉、佐藤皓平、錦織光、長濱道治、河野公範、林田麻衣子、岡崎四方、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊
第70回山陰精神神経学会
「脳梁膨大部に可逆性高信号域を認めた自殺企図患者の1症例」
山内真喜夫、錦織光、長濱道治、飯島慶郎、槻宅雅史、林真一郎、伊藤司、佐藤皓平、山下智子、河野公範、林田麻衣子、岡崎四方、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊 第70回山陰精神神経学会
「咽喉頭異常感に対して香蘇散が効果的であった1症例」
長濱道治、河野公範、山内真喜夫、飯島慶郎、槻宅雅史、林真一郎、林茉衣、正岡浩、三原靖葉、伊藤司、佐藤皓平、錦織光、山下智子、林田麻衣子、岡崎四方、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊
第70回山陰精神神経学会
「上半身の不可解な痛みを伴う不安症女兒の治療経験」
飯島慶郎、山内真喜夫、林真一郎、槻宅雅史、伊藤司、佐藤皓平、長濱道治、錦織光、山下智子、大拙孝治、林田麻衣子、岡崎四方、和氣玲、稲垣正俊 第70回山陰精神神経学会
「強迫性障害の一症例：主訴の背景にある心因へのアプローチを通じて」
松浦和基、高野由美子、三成綾、井上歩美、長濱道治、林田麻衣子、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊
第70回山陰精神神経学会
「島根大学 保健管理センターの役割」
和氣玲 島根県精神科医懇話会7月例会（オンライン）
- 10月 「高齢者における不定愁訴に対する漢方薬の使用経験」
長濱道治、河野公範、山内真喜夫、飯島慶郎、槻宅雅史、林真一郎、正岡浩、伊藤司、佐藤皓平、錦織光、山下智子、岡崎四方、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊 第38回日本老年精神医学会

- 11月 「うつ病の治療経過中に不可解な上半身の疼痛を生じた青年男性の一例」
飯島慶郎、山内真喜夫、林真一郎、正岡浩、槻宅雅史、伊藤司、佐藤皓平、長濱道治、錦織光、山下智子、大拙孝治、林田麻衣子、岡崎四方、和氣玲、稲垣正俊 第63回中国・四国精神神経学会
「精神科領域における驚愕病 (Hyperplexia) 啓発の重要性」
林田麻衣子、山内真喜夫、飯島慶郎、槻宅雅史、林真一郎、林茉衣、正岡浩、三原靖葉、伊藤司、佐藤皓平、錦織光、山下智子、岡崎四方、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊
第63回中国・四国精神神経学会
「乳幼児期発症の溶血性尿毒症症候群 (HUS) の治療経過中に、精神病状態を発症した1症例」
和氣玲、稲垣卓司 第63回日本児童青年精神医学会総会
「出雲市発達支援待機0プロジェクト～出雲市発達アセスメント会議～活動報告」
林田麻衣子、竹谷健、長谷川有紀、伊藤晃崇、錦織光、山下智子、長濱道治、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊 第36回日本総合病院精神医学会総会
「口腔内異常感に対する漢方薬の使用経験」
長濱道治、河野公範、山内真喜夫、飯島慶郎、槻宅雅史、林真一郎、林茉衣、正岡浩、三原靖葉、伊藤司、佐藤皓平、錦織光、山下智子、岡崎四方、林田麻衣子、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊
第36回日本総合病院精神医学会総会
「予防接種ストレス関連反応が疑われた1症例の長期経過について」
山下智子、伊藤司、山内真喜夫、飯島慶郎、槻宅雅史、林真一郎、林茉衣、正岡浩、三原靖葉、佐藤皓平、錦織光、長濱道治、河野公範、林田麻衣子、岡崎四方、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊
第36回日本総合病院精神医学会総会

2024年

- 3月 「さみしさに向き合う心理療法」
大野晋平 島根県臨床心理学研究会主催特別研修会

3. 学術論文

Jun Horiguchi, Rei Wake, Kenta Murotani, Haruo Seno, Tsuyoshi Miyaoka, Ken Inoue: A multicenter, double-blind, randomized, controlled study of patients with treatment-resistant schizophrenia treated with yokukansan for 12 weeks. Psychiatry Clin. Neurosci. Rep. 2023;2:e155.

4. 報告書

佐藤桃子、瀬戸和希、黒岩大史、加川允浩、和氣玲、足立孝子、関耕平、藤本晴久、宮本恭子 「フードバンクしまねあったか元気便 アンケート調査結果報告書 ― 子育て世帯を支える地域社会に向けた提言 ―」
フードバンクしまね 2023

5. 研究助成

和氣玲 基盤研究(C) 22q11.2 欠失症候群患者にみられる精神疾患発症に関するストレス脆弱性の解明

Ⅱ 教育活動

和氣 玲

行動科学（基礎教育）
精神看護学（基礎教育）
健康科学概論（基礎教育）
医学概論／人体の構造と機能および疾病（専門教育）
精神保健学Ⅰ（専門教育）
精神医学Ⅰ／精神疾患とその治療（専門教育）
精神医学Ⅱ（専門教育）
精神保健福祉実習（専門教育）
精神保健福祉実習指導（専門教育）
専門演習（専門教育）
卒業研究（専門教育）
健康科学特論Ⅱ（大学院教育）
健康・行動科学基礎論（大学院教育）
精神保健学特別演習ⅠA（大学院教育）
精神保健学特別演習ⅡB（大学院教育）
女性の精神保健学（大学院教育）
神経科学Ⅰ（大学院教育）
生体機能測定学Ⅰ（大学院教育）

和田葉子

行動科学（基礎教育）
人間心理（基礎教育）

Ⅲ 社会貢献・講演

和氣 玲

役員等

日本神経精神医学会 評議委員

日本心身医学会中国・四国地方会 代議員

日本精神科診断学会 評議委員

授業・講演等

島根リハビリテーション学院 「精神医学」 講義

和田葉子

役員等

島根県臨床心理士・公認心理師協会 会長

島根県精神保健福祉協会 評議員

島根県自死総合対策連絡協議会 委員

島根県社会福祉審議会児童福祉専門分科会 委員

島根県災害時精神保健医療体制運営委員会 委員

出雲市市民活動支援課 女性相談スーパーバイザー

授業・講演等

出雲市子ども若者支援センター職員研修 講師

島根大学医学部附属病院職員新人研修 講師

島根県看護協会新人研修 講師

島根県臨床心理士・公認心理師協会学校臨床部会継続研修拡大会 第三者委員会研修 講師

その他

厚生労働省 こころの健康づくり対策事業心のケア 相談員

原美貴

役員等

島根県臨床心理士・公認心理師協会 医療保健担当理事

授業・講演等

松江看護高等専修学校 「基礎看護技術 患者の心理」 講義

その他

島根県 HIV/AIDS 派遣カウンセラー

厚生労働省 こころの健康づくり対策事業心のケア 相談員

大野晋平

授業・講演等

松江総合医療専門学校 「カウンセリング理論」 講義

IV 事業・業務

1. 年間行事

月	行事
4月	新入生オリエンテーション
5月	【4～5月】定期健康診断（在学生・留学生） 【6～8月】定期健康診断事後措置（在学生・留学生）
6月	保育所実習のための健康診断書作成（看護学科3年生）
7月	新入生4種感染症及びB型・C型肝炎の抗体等に関する検査 前年度入学生のB型肝炎ワクチン接種（3回目） 新入生健康調査（健康管理カード提出）
8月	医学部オープンキャンパス 救護班 学生編入学一次選抜試験 救護班 薬剤など業務の相互チェック（出雲・松江） 第42回島根学生相談研究会
9月	学生編入学二次選抜試験 救護班 4種感染症追加ワクチン接種勧奨 職員のB型肝炎ワクチン接種（1回目）
10月	職員のB型肝炎ワクチン接種（2回目）
11月	学生・職員インフルエンザワクチン接種
12月	学生・職員インフルエンザワクチン接種 学校推薦型選抜試験 救護班 第3回保健管理センター管理運営委員会
1月	今年度入学生のB型肝炎ワクチン接種（1回目） 大学入学共通テスト救護班
2月	今年度入学生のB型肝炎ワクチン接種（2回目） 国家資格免許申請用の健康診断書作成（看護学科4年生・医学科6年生） 薬剤など業務の相互チェック（出雲・松江） 入学者選抜試験（前期日程） 救護班
3月	来年度学生健診・新入生健康調査票の準備 入学者選抜試験（後期日程） 救護班 単位未修得者面接の実施（～4月） 職員のB型肝炎ワクチン接種（3回目）

2. 年間を通しての業務

<ul style="list-style-type: none">・ 日常の健康相談（身体面及び心の健康相談）・ 医師の診察・ 医学部教員との学生についての会議・連携・ 応急処置・往診・ 医療機関（専門医）への紹介・ 感染症対応・ 4種感染症追加ワクチン接種管理・ カウンセリング・ 心理検査	<ul style="list-style-type: none">・ 薬剤在庫管理、定期点検・ 休養室の提供・ 救急バック、車いす、血圧計等の貸し出し・ 検査機器の利用（身長体重計、血圧計）・ ホームページの更新・ ハラスメント相談・ 産業医面談・ 各種健康診断書、意見書の発行
---	---

3. 定期会議

- ・ 出雲・松江連絡会議（理事・学長）（2回／年）
- ・ 松江・出雲合同カンファレンス（1回／月）
- ・ 出雲保健管理センターミーティング（1回／月）
- ・ 学生相談懇談会（1回／月 ※8月以外）
- ・ 出雲保健管理センター管理運営委員会（3回／年）

V 保 健 管 理 部 門

1. 学生定期健康診断

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけは、2023年5月8日より2類相当から「5類感染症」へ変更になった。それを受けて、感染予防策を実施した上で、健診実施項目を新型コロナウイルス蔓延前の学校保健法に基づく内容に見直しを行い実施した。

(1) 健康診断項目

学年	内科診察	身体計測 (BMI含む)	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	Web問診
医学科1年生	○	○	○	○	○	○
医学科2年生	○	○	○	○	-	○
医学科3年生	○	○	○	○	○	○
医学科4年生	○	○	○	○	○	○
医学科5年生	○	○	○	○	○	○
医学科6年生	○	○	○	○	○	○
看護学科1年生	○	○	○	○	○	○
看護学科2年生	○	○	○	○	-	○
看護学科3年生	○	○	○	○	○	○
看護学科4年生	○	○	○	○	○	○
医科学専攻博士課程	○	○	○	○	○	○
医科学専攻修士課程	○	○	○	○	○	○
看護学専攻博士前期・後期	○	○	○	○	○	○

4月～5月 健康診断の実施。(※対象者は、休学者と来日前の者は除く)

日程：内科健診は4日間(1日当たり4時間)、胸部X線検査は10日間(1日当たり2時間)

場所：内科健診はラーニングコモンズ、胸部X線は附属病院放射線部

6月～9月 健康診断の再検査(尿検査)を実施及び学校医によるフォロー、該当者(要精密検査)に対して紹介状を作成し、受診勧奨を行う。

(2) 健康診断受診率

対象者	対象人数	内科診察受 検者数 (人)	内科健診受 検率 (%)	尿検査受検 者数 (人)	尿検査受検 率 (%)	胸部X線検 査受検者数 (人)	胸部X線受 検率 (%)	Web問診回 答者数(人)	Web問診回答 率 (%)
医学科1年生	110	107	97.3	99	90.0	103	93.6	105	95.5
医学科2年生	112	97	86.6	83	74.1	5	※ 100.0	94	83.9
医学科3年生	112	106	94.6	71	63.4	100	89.3	99	88.4
医学科4年生	120	103	85.8	91	75.8	108	90.0	102	85.0
医学科5年生	104	101	97.1	73	70.2	97	93.3	99	95.2
医学科6年生	97	89	91.8	80	82.5	86	88.7	85	87.6
看護学科1年生	61	61	100.0	59	96.7	60	98.4	60	98.4
看護学科2年生	59	58	98.3	58	98.3	-	-	58	98.3
看護学科3年生	59	59	100.0	59	100.0	59	100.0	56	94.9
看護学科4年生	58	58	100.0	57	98.3	55	94.8	58	100.0
大学院生 昼区分	46	41	89.1	38	82.6	39	84.8	23	50.0
合計	938	880	93.8	768	81.9	712	91.4	839	89.4

※医学科2年生の胸部X線受検対象者は2年次編入生(5名)のみ

(3) 健康診断結果の有所見者の人数及び割合

		人数 (人)	割合 (%)
有所見者	要精密検査	17	1.93
	要継続医療	65	7.39
	要経過観察	23	2.61
	合計	105	11.93
異常なし		775	88.07
合計		880	100

(4) 健康診断有所見者への事後措置及び課題

① 内科診察

(3)で提示した4段階評価で内科医に診察してもらい、要精密検査の判定の学生については、紹介状を作成し医療機関受診を勧奨した。受検者数880名のうち要精密検査は9名。そのうち6名が紹介状受取りに応じ、3名より医療機関受診の報告を受けた。

② BMI 低値及び高値

BMI 低値 (17.5) の学生に対して、任意の追加問診を実施した。問診内容は、①1年前の体重、②月経周期についての調査 (女性のみ)、③EAT-26、④学校医の診察希望の有無について調査した。対象者は27名で回答数は17名であった。学校医の診察を希望した学生については、その後の体調経過や体重経過を追うことやカウンセリングに繋げる形でフォローすることができた。しかし診察を希望しなかった学生に対してのフォローが困難であった。フォロー方法については、次年度以降で検討が必要と考える。

BMI 高値 (25.0以上) の学生93名についてはフォローに至ることができなかった。次年度以降で検討が必要と考える。

③ 尿検査

検査結果で、尿糖 1+以上、尿蛋白 1+以上、尿潜血 1+いずれかの所見または複数の所見があった場合を再検査の対象とした。受検者 768 名のうち 32 名に上記所見を認め、メールで再検査を呼び掛けた。そのうち 25 名に再検査を実施し、うち 4 名に再度異常所見が見られたため、外部医療機関への紹介状を作成した。2 名より医療機関受診の報告を受けた。

④ 胸部 X 線検査

受検者 712 名のうち有所見者は 4 名。全員を要精密検査として紹介状作成を行い、全員が紹介状の受け取りに応じた。うち 3 名は治療歴や通院歴があることを確認できたため経過観察とし、うち 1 名は医療機関で再検査を実施し、異常が無いことが確認できた。

⑤ マイクロソフト Forms を使用した Web 問診

国立大学保健管理施設協議会（2020）より抜粋した項目にて、心身の状態、生活習慣について調査した。調査後の事後措置に至ることができなかった。コロナ禍で内科診察ができないことで導入が始まっており、今後継続が必要であるのか検討が必要である。

文献: 国立大学保健管理施設協議会 (2020)「エビデンスに基づく健康診断の勧め 若者から始める健康管理」
保健同人社

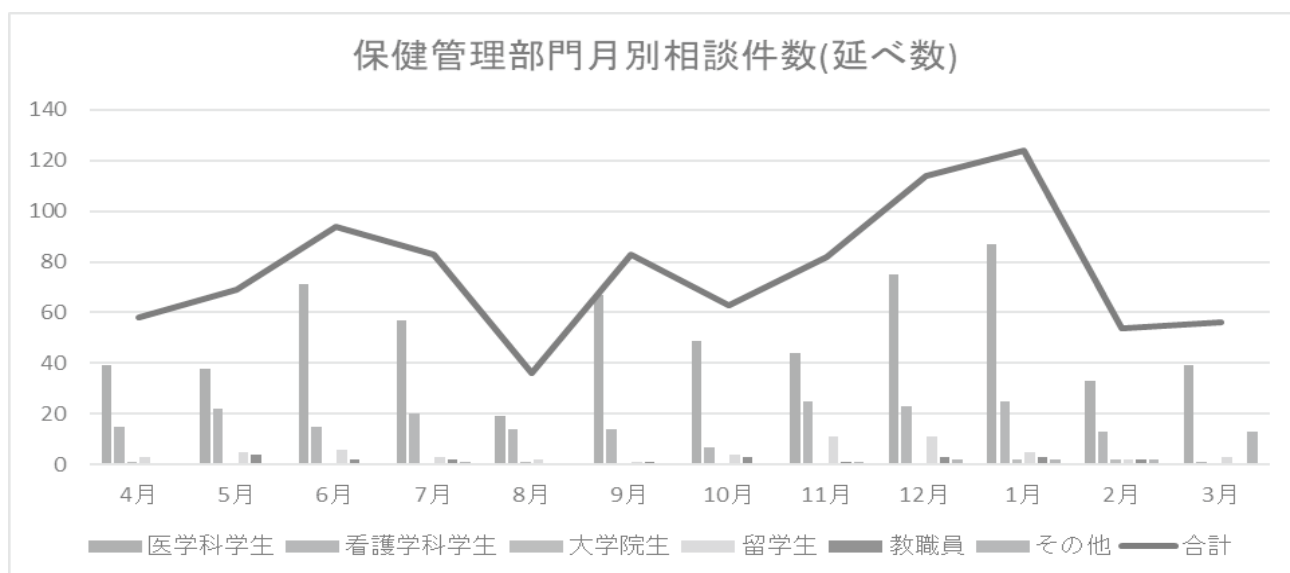
2. 出雲保健管理センター利用状況

保健管理部門月別相談件数（延べ数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医学科学生	39	38	71	57	19	67	49	44	75	87	33	39	618
看護学科学生	15	22	15	20	14	14	7	25	23	25	13	1	194
大学院生	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2	0	6
留学生	3	5	6	3	2	1	4	11	11	5	2	3	56
教職員	0	4	2	2	0	1	3	1	3	3	2	0	21
その他	0	0	0	1	0	0	0	1	2	2	2	13	21
合計	58	69	94	83	36	83	63	82	114	124	54	56	916

※教職員自身の健康相談等は産業保健事業にて集計、ここでは学生関連についての相談件数のみ集計。

※その他は、卒業生、家族、新入学予定者等である。



出雲保健管理センター利用内容(延べ数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
測定	身体測定	0	0	1	0	0	2	1	0	1	2	1	0	8
	バイタル測定	2	1	4	3	1	9	5	5	5	3	0	1	39
健康 診察 相談	保健師による健康相談	11	13	25	11	3	17	17	19	14	27	8	7	172
	医師による診察	5	16	13	9	4	5	1	3	5	4	3	0	68
	連携・会議	0	9	6	1	1	4	7	2	6	4	2	0	42
処置	簡易処置	7	2	3	0	2	1	4	0	4	0	0	0	23
	投薬	6	9	9	4	1	6	1	1	7	2	2	0	48
	休憩室利用	8	17	14	16	2	10	12	4	4	4	2	6	99
感染 症 管理	コロナ対応	6	5	13	14	16	37	16	18	17	19	12	13	186
	感染症対応 (インフルエンザ等)	0	0	0	0	0	5	2	10	10	10	1	1	39
	抗体価検査結果・ ワクチン接種関連	8	4	5	10	4	2	3	10	37	47	14	20	164
紹介 専門 医	専門医紹介(口頭紹介)	3	2	10	1	0	3	7	1	5	8	2	4	46
	専門医紹介(紹介状有)	3	10	4	4	2	1	1	2	2	0	0	0	29
書類発行(意見書・診断書・ 抗体価・健診結果等)		11	6	20	19	3	2	3	16	17	10	13	5	125
その他		2	4	1	4	2	1	0	0	2	3	0	3	22
合計		72	98	128	96	41	105	80	91	136	143	60	60	1,110

3. 医学部生の感染症対策

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

島根大学では、2023年5月8日より「新型コロナウイルス感染症に関わる島根大学行動指針フェーズ0（通常）」に移行となった。しかし、医学部では、キャンパス内に附属病院を有することから「新型コロナウイルス感染症対策委員会」を中心に対応を行った。医学部学生には、「医学部生の感染対策」に記載された感染予防対策を遵守するよう働きかけを実施。また、感染制御部や新型コロナウイルス感染症対策委員会、学務課と連携し、「体調不良や罹患疑いがある場合の連絡フロー（医学部学生用）」を作成し、連絡体制の構築を行った。

曖昧であった公認欠席の手続きについてや、出席停止期間についても図式化しホームページに明記することによって学生が行動しやすいよう配慮を行った。

新型コロナウイルス 出席停止期間早見表 ※症状が軽快：解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状(咳や息苦しさ)が改善傾向にあることを指す。

	発症後5日間(出席停止期間)					発症後5日を経過			
	0日目 /	1日目 /	2日目 /	3日目 /	4日目 /	5日目 /	6日目 /	7日目 /	8日目 /
発症後1日目に 症状が軽快した場合	発熱 ☹️	症状軽快 😊	軽快後1日 😊	😊	😊	😊	登校可		
発症後2日目に 症状が軽快した場合	発熱 ☹️	発熱 ☹️	症状軽快 😊	軽快後1日 😊	😊	😊	登校可		
発症後3日目に 症状が軽快した場合	発熱 ☹️	発熱 ☹️	発熱 ☹️	症状軽快 😊	軽快後1日 😊	😊	登校可		
発症後4日目に 症状が軽快した場合	発熱 ☹️	発熱 ☹️	発熱 ☹️	発熱 ☹️	症状軽快 😊	軽快後1日 😊	登校可		
発症後5日目に 症状が軽快した場合	発熱 ☹️	発熱 ☹️	発熱 ☹️	発熱 ☹️	発熱 ☹️	症状軽快 😊	軽快後1日 😊	登校可	

R5.10.26

医学部学生用連絡フロー①
体調不良や感染症罹患疑いがある場合

体調不良及び罹患疑いがある場合は以下の各窓口へ連絡すること

【連絡が必要な場合】

- ・新型コロナウイルスに対するPCR検査又は抗原検査が陽性
- ・会食者や同居する者が新型コロナウイルスに対するPCR検査又は抗原検査陽性であった場合
- ・発熱、咳等、風邪の症状などの体調不良がみられる場合
- ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある場合

※新型コロナウイルスに罹患した場合の出席停止期間は、公認欠席(以後、公欠と略)となります。

公欠には受診した病院の診断書等(領収書可)が必要です。

①
出雲保健管理センター
0553-20-2099

新型コロナウイルス感染症罹患
の場合

出席停止期間
発症した後5日を経過し、かつ、
症状が軽快した後1日を経過する
まで

①発症日(0日目)と症状を申告
してください。

②発症後5日目にも、症状の有無
を必ず連絡してください。

→症状なし:6日目より出席可能

→症状あり(咽頭痛、咳嗽、鼻汁
あり):出席停止が2日間延長に
なります。
保健管理センターの医師にて、結
果の報告書を作成します。

②
学務課
0553-20-2093

保健管理センターから指示
された出席停止期間等を連
絡してください。

公欠に該当する場合、学務
課の指示に従い、診断書等
(領収書可)を準備してくだ
さい。

出席停止期間経過後に学務
課で公欠届の手続きを行う
必要があります。

③
各授業担当教員

授業を欠席する場合には、
授業担当教員(臨床実習の場
合には指導科)に連絡してく
ださい。

「医学テュートリアル」科目
は学務課から担当講師に欠席
連絡を行いますので、学務課
に連絡してください。

授業担当教員の連絡先が分
からない場合には学務課に連
絡してください。

※附属病院の感染制御部と相談の上、決定しています。

(2) 小児4種感染症及びB型・C型肝炎の抗体等に関する検査及び予防接種

医学部の学生は、臨床実習および臨地実習に参加するため、様々な感染症患者と接触する機会がある。その際に感染源にならないこと、感染しないことが必要となり、自身の各種感染症の免疫獲得状態の把握と予防接種が必要である。病院内等で特に配慮すべき感染症である、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎の小児4種感染症、B型肝炎及びインフルエンザは、ワクチン接種によって予防可能な感染症である。「医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版」では、接種対象者について「すべての医療関係者」と明記されている。特に麻疹と水痘の感染経路は空気感染・飛沫感染・接触感染、風疹と流行性耳下腺炎の感染経路は飛沫感染・接触感染であることから、「職業上の安全性の観点から実習・勤務前の予防が重要」と明記されている。

出雲キャンパスでは、医学部学生に対して、小児4種感染症及びB型・C型肝炎の抗体価検査及びワクチン接種を、臨床実習および臨地実習開始までに完了するように働きかけた。入学初年度7月に当センターで採血を実施、抗体価測定は(財)ヘルスサイエンスセンター島根に依頼した。

検査項目

AST、ALT、 γ -GTP、HBs 抗原・HBs 抗体、HCV 抗体
麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎の各抗体価

① 小児 4 種感染症の抗体価検査結果

【EIA 抗体価判定基準】

判定	麻疹	風疹	水痘	流行性耳下腺炎
(+)	16.0以上	8.0以上	4.0以上	4.0以上
(±)	2.0以上16.0未満	2.0以上8.0未満	2.0以上4.0未満	2.0以上4.0未満
(-)	2.0未満	2.0未満	2.0未満	2.0未満

(日本環境感染学会 (2020)「医療者のためのワクチンガイドライン第 3 版」より抜粋)

上記の判定基準に沿って、以下の結果となった。

医学科

判定	麻疹		風疹		水痘		流行性耳下腺炎	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
(+)	15	13.4	44	39.3	98	87.5	81	72.3
(±)	94	83.9	62	55.4	6	5.4	12	10.7
(-)	3	2.7	6	5.4	8	7.1	19	17.0
合計	112	100.0	112	100.0	112	100.0	112	100.0

※医学科は 2 年次編入生 5 名、3 年次編入生 5 名を含む。

看護学科

判定	麻疹		風疹		水痘		流行性耳下腺炎	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
(+)	10	16.7	30	50.0	52	86.7	48	80
(±)	50	83.3	29	48.3	7	11.7	6	10
(-)	0	0.0	1	1.7	1	1.7	6	10
合計	60	100.0	60	100.0	60	100.0	60	100

② 小児 4 種感染症の抗体価検査の事後措置

以前は、「医療従事者のためのワクチンガイドライン第 3 版 (2020)」を参考に「1 歳以上でワクチン接種を 2 回実施していれば、臨床実習へ参加できる」という判断のもと、ワクチン接種が不足している学生へ追加接種を促していた (抗体価が陰性でも 2 回以上の接種歴がある学生へは罹患しないように注意喚起のみ実施)。

しかし、ワクチンを 2 回接種していても抗体価が低い学生が多いという状況が問題視されるようになり、医療専門職を目指す学生として可能な限り感染対策を実施し実習に参加することが求められるようになった。

そのため、附属病院の感染制御部と協議した結果、2023 年度よりワクチンの 2 回以上の接種歴があっても、抗体価が (±) の判定の学生に対してはワクチン接種を 1 回、抗体価が (-) の判定の学生に対してはワクチン接種を 2 回促すこととなった。追加ワクチン接種の勧奨及び接種状況把握の方法として、抗体価検査結果表に合わせて、各々に紹介状及びワクチン接種報告書を作成・返却し、ワクチン接種が終了した後にワクチン接種報告書を提出するように呼びかけた。

③ B型肝炎・C型肝炎等の抗体価検査結果

医学科

判定	HBs抗原		HBs抗体		HCV抗体	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
(+)	0	0.0	6	5.4	0	0.0
(-)	112	100.0	106	94.6	112	100.0
合計	112	100	112	100	112	100

判定	AST		ALT		γ-GTP	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
正常値	109	97.3	107	95.5	111	99.1
高値	3	2.7	5	4.5	1	0.9
合計	112	100.0	112	100.0	112	100.0

※医学科は2年次編入生5名、3年次編入生5名を含む。

看護学科

判定	HBs抗原		HBs抗体		HCV抗体	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
(+)	1	1.7	3	5.0	0	0.0
(-)	59	98.3	57	95.0	60	100.0
合計	60	100	60	100	60	100

判定	AST		ALT		γ-GTP	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
正常値	60	100.0	59	98.3	60	100.0
高値	0	0.0	1	1.7	0	0.0
合計	60	100.0	60	100.0	60	100.0

※肝機能については、(財)ヘルスサイエンスセンター島根で要精密検査として案内する値を参考に判定を「高値」とした。基準は以下の通りである。

	AST	ALT	γ-GTP
肝機能高値	51.0以上	51.0以上	101.0以上

④ B型肝炎・C型肝炎等の抗体価検査の事後措置

HBs抗体陰性(10.0mIU/mL未満)かつHBs抗原陰性(0.005IU/mL未満)の学生を対象に、B型肝炎ワクチンを1月・2月・7月の3回接種(1シリーズ)を実施した。③の基準を参照し、対象者は医学科112名、看護学科は56名であった。なお集団接種後に、副反応の出現を訴える学生は見られなかった。

肝機能高値であった学生7名については、再検査のための紹介状を作成し医療機関への受診を推奨した。

(3) インフルエンザワクチン接種

平成 11 年度より、国家試験受験対策として医学科 6 年の希望者を対象にインフルエンザワクチン接種を開始し、現在は、臨床実習及び臨地実習の学年も対象としている。

Forms にて接種希望者の調査を行い、希望者を対象に保健管理センターにてワクチン接種を実施した。

接種者数・接種率

学年	対象者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)
医学科4年生	120	64	53.3
医学科5年生	106	63	59.4
医学科6年生	99	63	63.6
看護学科3年生	59	52	88.1
看護学科4年生	61	47	77
大学院生	3	3	100
合計	448	292	65.1
教職員		61	

※教職員は、基礎医学系講座、学務課、保健管理センター、医学科図書館等の希望者。

4. その他

ホームページリニューアル

これまで業者に委託していたホームページ更新をセンター運営へ変更した。

保健管理部門、感染管理部門、学生相談部門等カテゴリーごとに分類し、学生が情報収集しやすいよう構成の変更を行った。健康診断や、ワクチン接種、学校医案内等タイムリーに話題掲示を行い学生が活用しやすいよう日々試行錯誤を行っている状況である。

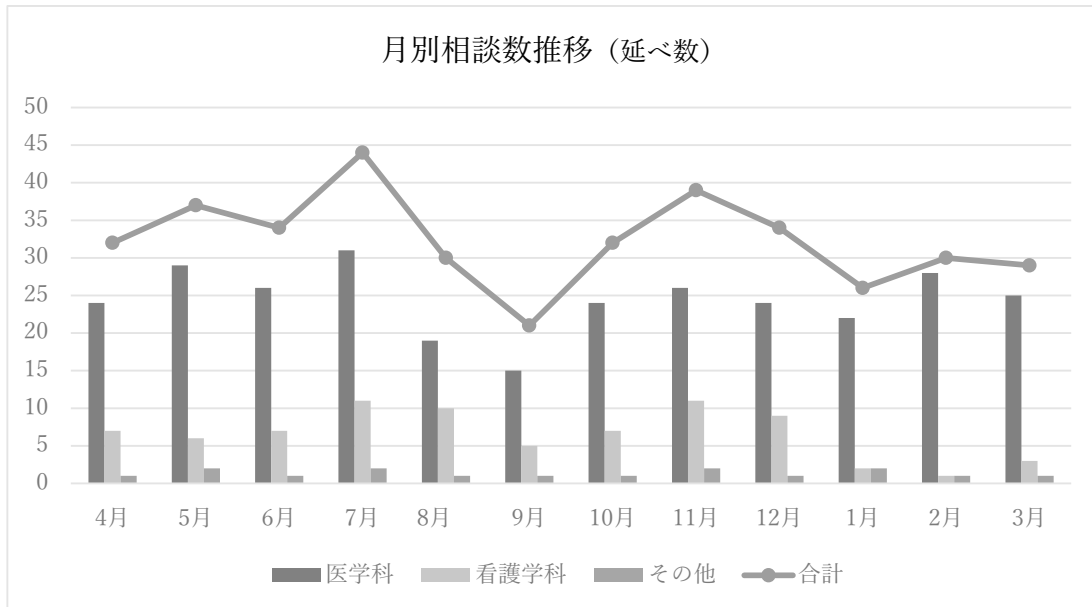
また、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザに関しては、それぞれ独自の出席停止期間早見表を作成し提示を実施。学生への出席停止期間説明時もホームページを活用し、説明することで学生の理解を深めていくことができた。

VI 学生相談部門

1. 学生相談室利用状況

(1) 月別相談数（延べ数）

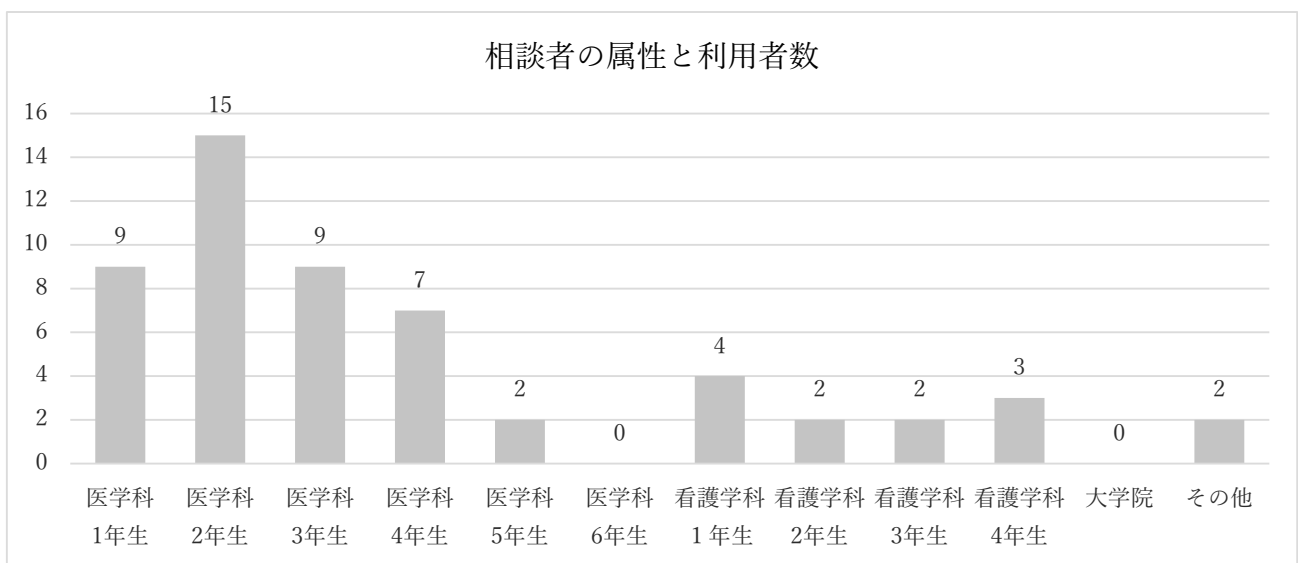
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医学科	24	29	26	31	19	15	24	26	24	22	28	25	293
看護学科	7	6	7	11	10	5	7	11	9	2	1	3	79
その他	1	2	1	2	1	1	1	2	1	2	1	1	16
合計	32	37	34	44	30	21	32	39	34	26	30	29	388

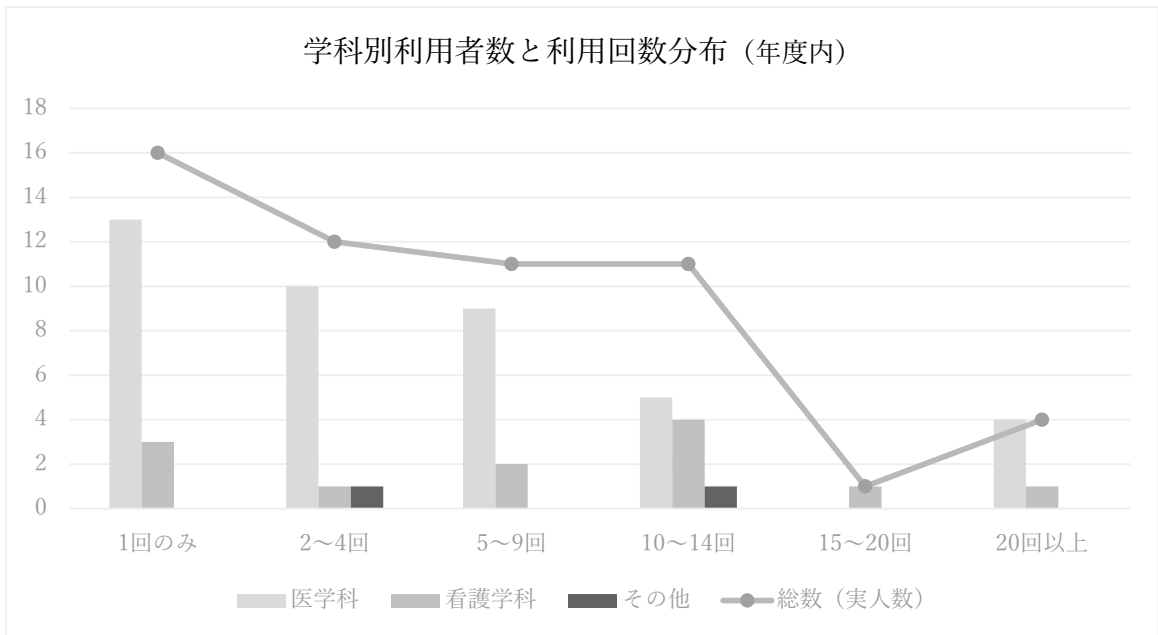


(2) 相談者の属性と内容

① 相談者の属性

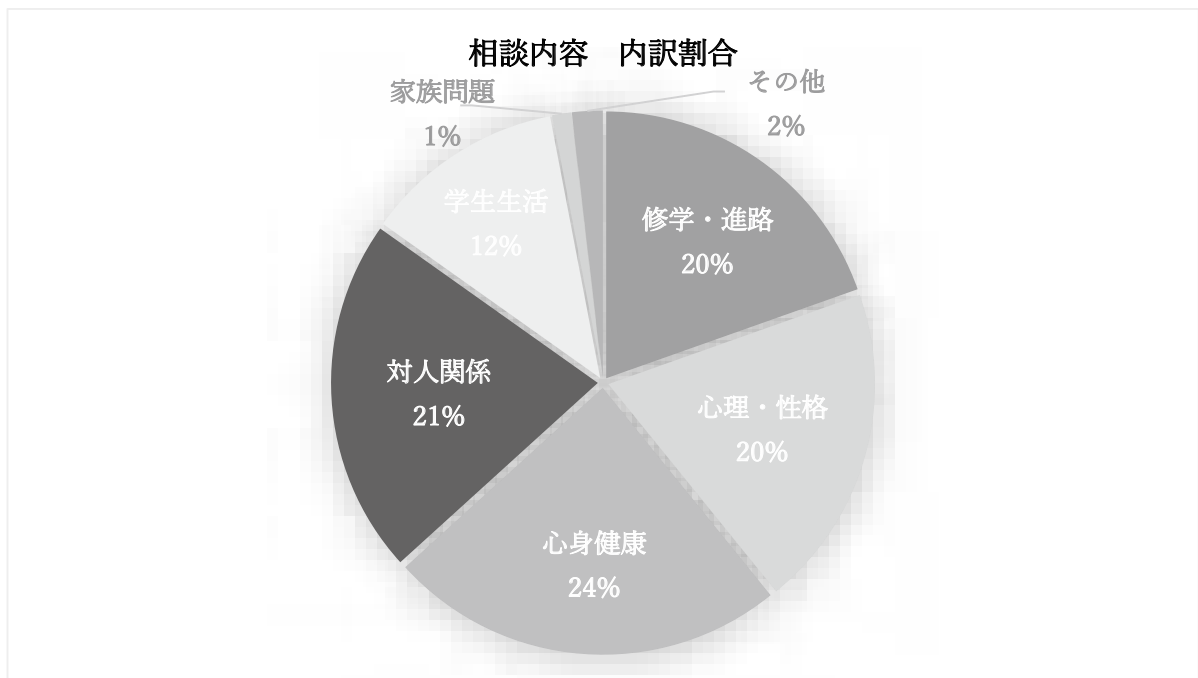
カウンセリング利用者数は55名であり、内16名が1回の面接で終了であった。39名が2回以上継続していた。





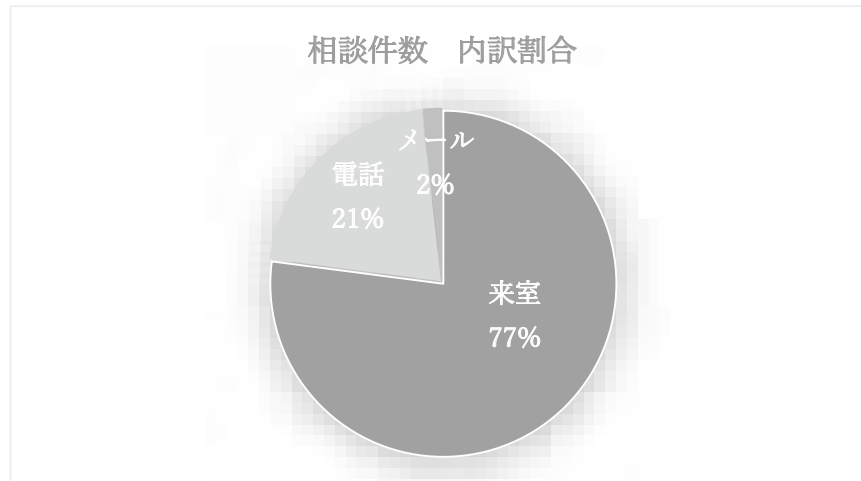
② 相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
修学・進路	18	17	12	18	17	10	16	18	9	7	12	15	169
心理・性格	10	18	20	13	18	9	16	20	9	13	11	12	169
心身健康	17	20	21	32	19	13	12	22	22	13	6	11	208
対人関係	20	21	20	26	14	8	11	16	18	4	15	13	186
学生生活	11	14	12	12	10	6	11	11	7	6	3	2	105
家族問題	1	0	1	1	0	0	0	3	2	0	1	1	10
その他	3	2	2	3	0	0	0	0	2	1	1	2	15



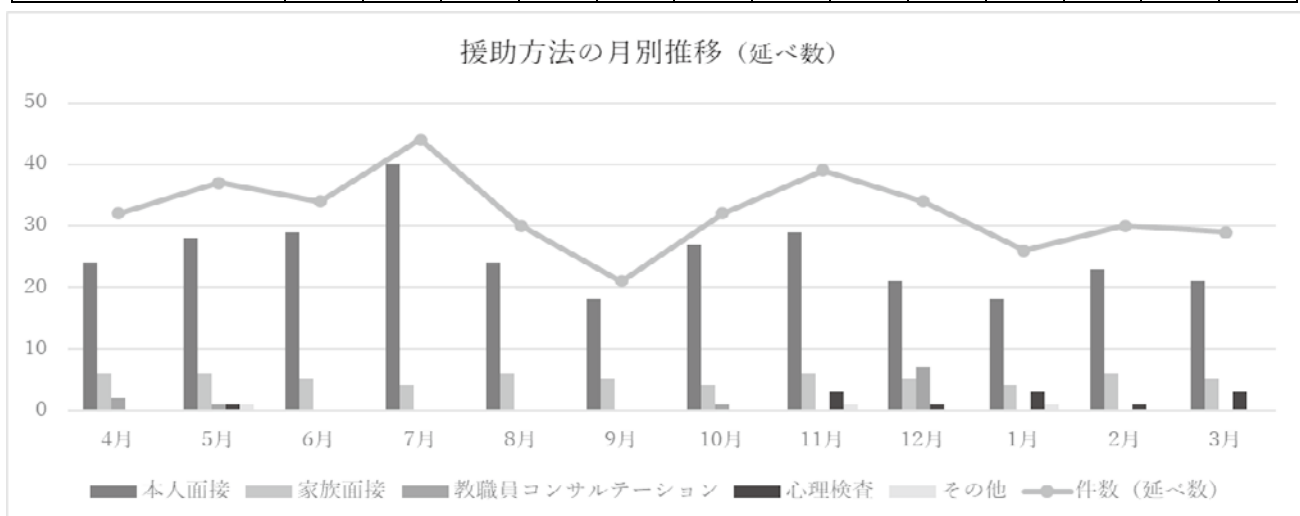
③ 援助手段

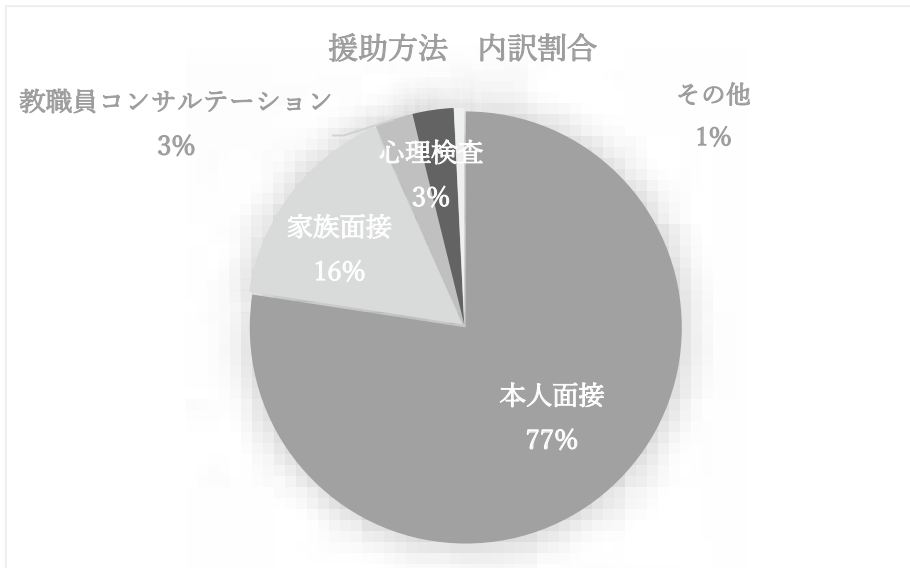
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来室	25	26	29	35	23	14	26	31	23	21	25	21	299
電話	7	11	5	9	7	7	6	7	5	5	5	8	82
メール	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	6
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
小計	32	37	34	44	30	21	32	39	34	26	30	29	388



④ 援助方法

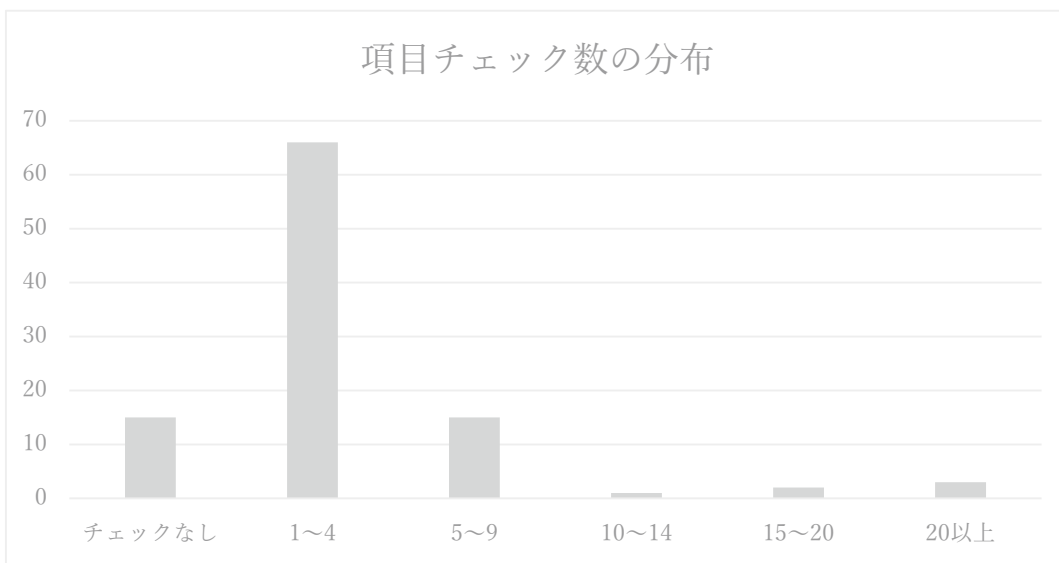
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人面接	24	28	29	40	24	18	27	29	21	18	23	21	302
家族面接	6	6	5	4	6	5	4	6	5	4	6	5	62
教職員コンサルテーション	2	1	0	0	0	0	1	0	7	0	0	0	11
支援者会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心理検査	0	1	0	0	0	0	0	3	1	3	1	3	12
その他	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
小計	32	37	34	44	30	21	32	39	34	26	30	29	388





2. 入学時健康調査票

入学時に自記式の「入学時健康調査票Ⅱ」を配布、集計し、学生の健康度を把握した。チェック数が多い、気になる項目にチェックをしているなどの観点から、「気になる学生」として12名を確認した。



3. 学生相談懇談会

学生相談懇談会は、学生支援にかかわる教員ならびに関係者による連携会議として、原則毎月1回定期的に開催している。今年度は以下の日程で、センター内で開催した。

5月17日、6月21日、7月19日、9月20日、10月25日、11月22日、12月20日、1月24日、2月28日

4. 学務課との連携

学生の学びを支援する活動として以下のような連携活動を行った。

- ・指導教員等担当者検討会への出席。
- ・留年学生との面談の実施(令和6年3月～)。

5. 島根学生相談研究会

例年、年2回開催される標記会に今年度も以下の通り開催、出席した。

第42回学生相談研究会(出雲キャンパス会場)令和5年8月30日

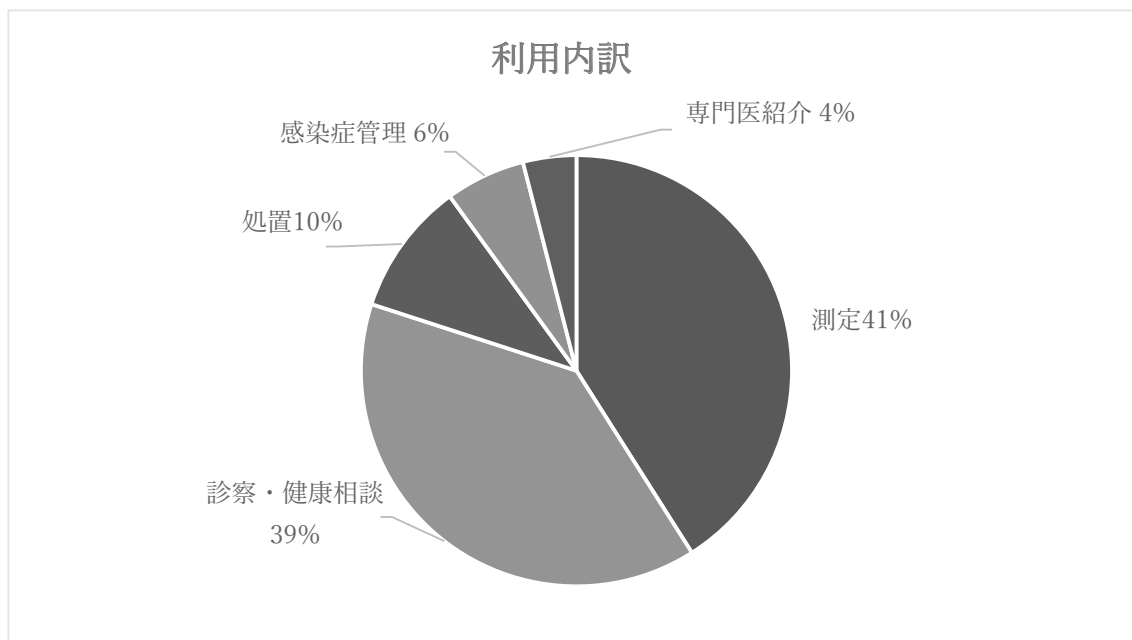
第43回学生相談研究会(松江キャンパス会場)令和6年3月6日

Ⅶ 産 業 保 健 部 門

出雲保健管理センターでは、医学部教職員や病院職員へも対応や相談を行っている。

1. 教職員の保健管理

(1) 利用内訳



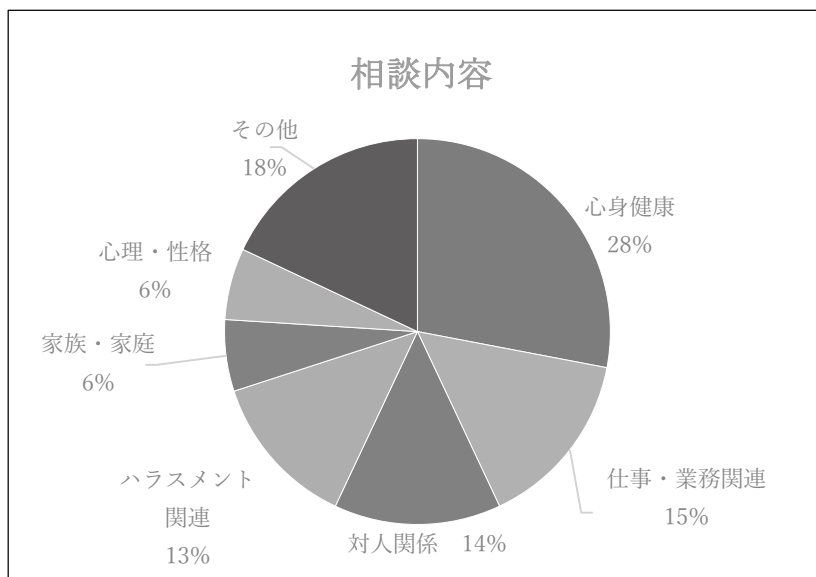
大項目	小項目	延べ件数
測定	バイタル測定	29
	身体測定	32
診察・健康相談	医師による診察	17
	保健師による健康相談	13
処置	簡易処置	2
	投薬	12
感染症管理	インフルエンザ等	2
	新型コロナウイルス	7
専門医紹介	紹介状	4
	口頭	2
合計		134

2. 教職員への心理支援

2023年度の教職員における総相談件数は104件であり、24名が心理士による相談を利用した。

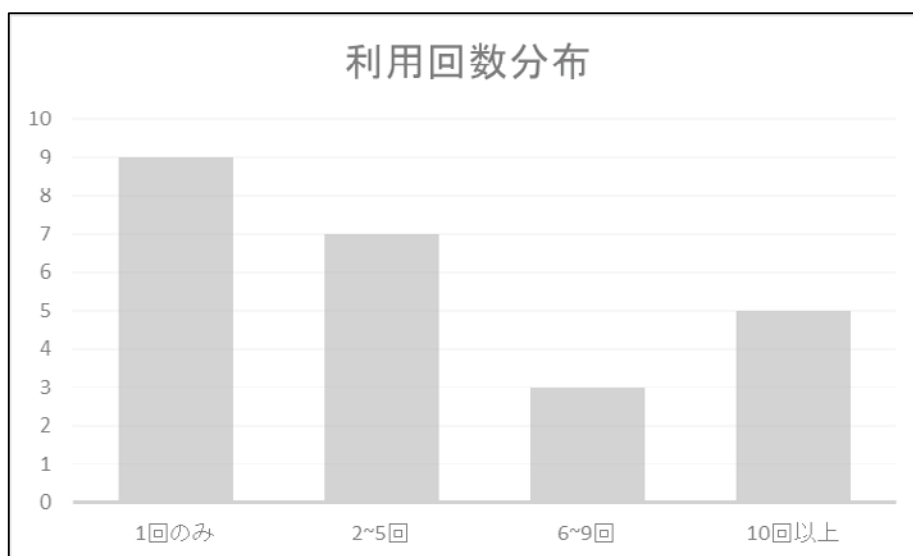
(1) 相談内容

相談内容	延べ件数
心身健康	65
仕事・業務関連	35
対人関係	32
ハラスメント関連	29
家族・家庭	14
心理・性格	13
その他	41



「その他」の項目には、「ワークライフバランスの問題」や「復職の相談」、「緊急支援」などが含まれている。

(2) 相談回数分布



2023年度に利用した24名の内、半数以上は複数回の相談、もしくは継続の相談へとつながっている。

3. 産業医の業務

医学部事業部の産業医としての業務は以下のとおりである。

- ・春季と秋季に行われる職員一般・特殊定期健康診断の事後措置。
- ・毎月1回開催される医学部・附属病院合同安全衛生委員会への出席。
- ・毎月1度、医学部構内の職場巡視。
- ・ホルムアルデヒドなどの有害物質を使用する場所の作業環境測定の結果に対する意見提示。
- ・裁量労働制である教員の勤務時間の確認と、勤務時間が月に200時間以上である教員に対する事後措置（面接指導の勧奨、保健指導の勧奨、経過観察など）。
- ・RIを使用する業務を行っている教職員の健康判定と精密検査の勧奨。
- ・精神的な疾患で病気休暇を取得した教職員または退職した教職員にたいして、本人とその上司とともに三者面談、復職支援プログラムの作成、完全な復職に向けた支援。
- ・ストレスチェックの実施。ストレス度が高い教職員へ面接指導の勧奨。希望者に面接と事後措置。

資 料

I : 目 標 と 計 画

第 4 期中期計画

(令和4年4月1日～令和11年3月31日、関連する箇所のみ)

V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

(1) ー2 AIの活用により、学生相談窓口等の定型業務をオンラインで対応できる体制を整備することで、学生の利便性や対応業務の効率を向上させる。

X その他

4. 安全管理に関する計画

- (1) 学内構成員の健康保持に努めるため、大学が実施する健康診断の受診環境を整備する等、法令等に基づき適正な安全衛生活動を実施する。
- (2) ストレスチェックに基づく高ストレス者への面接指導の勧奨や、敷地内禁煙にあわせて保健管理センターで行う禁煙相談・外来の周知を図るとともに、近年増加傾向にあるメンタルヘルスに関する相談に対応するために学外に設置した相談窓口を活用する等、教職員がより健康で働きやすい環境を整備する。

令和5年度 内部質保証に関する自己点検・評価書

(関連する箇所のみ)

2. 学生支援

2-1. 学生生活、就職等進路、ハラスメントへの相談等

学生生活全般に関する相談体制は、学生相談室を設置している。また、身体的・精神的な健康に関する相談体制は松江及び出雲の保健管理センターで行う体制が整えられ、障がい学生支援室と連携を図りながら、十分な相談支援を行っている。

就職等進路の相談へも専門的知識を持った相談員を配置し、就職に係る様々なイベントを開催し就職支援を行っている。

ハラスメント対策に関しては、「ハラスメント等対策規程」を制定し、ハラスメント防止・対策に関する方針の周知・啓発、研修・講習を実施している。相談の窓口としてハラスメント相談員を配置し、Webサイトへの情報掲載や学生生活案内の配布などを通して、学生周知に努めている。

2-3. 令和4年度自己点検・評価書における今後の取組への対応

(今後の取組)

多様で複雑な相談内容が増加している中で、各部局の教職員と医師・カウンセラー・障がい学生支援担当教員等の専門職の連携をとるために、学務情報システムの特記事項（学生カルテ）への記入を徹底する他、教職員ハンドブック及び指導マニュアルの積極的な活用やe-ラーニングによる研修などを実施する。

(令和5年度の対応)

障がい学生へのより細かい支援実施のため、教職員を対象に「障がい学生支援に係る講習」のe-ラーニングでの受講を義務化した。

また、令和5年度に学務情報システムを改修し、支援が必要な学生及び支援内容について授業担当教員が確実に確認できよう、履修者名簿上で反映されるようにした。この改修により、共有されるべき支援内容が速やかに共有され、また追加で支援が必要になった支援内容についても迅速に対応できる仕組みが構築された。

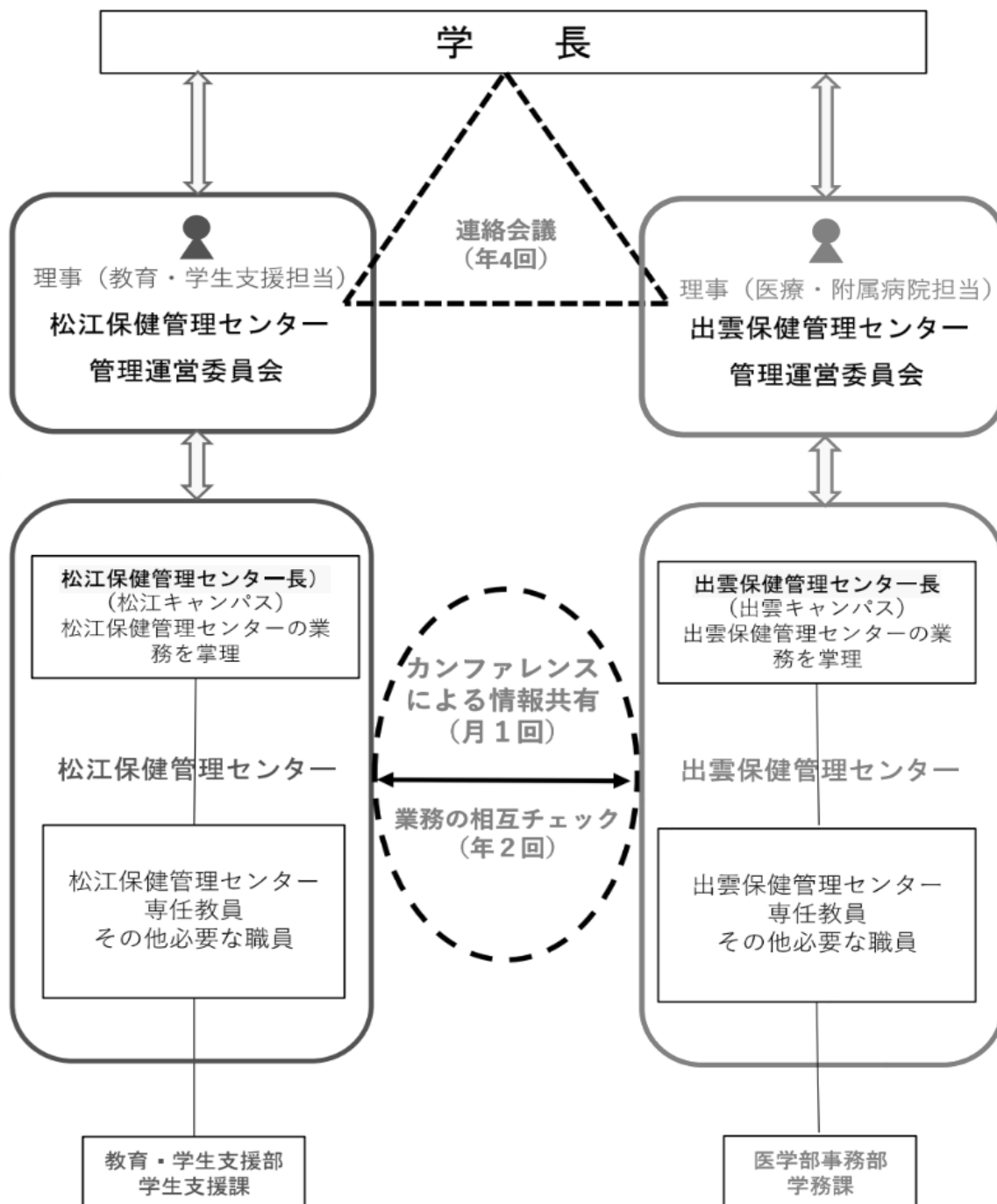
2-4. 今後の取組

各部局の教職員と医師・カウンセラー・障がい学生支援担当教員等の専門職とがより円滑な情報共有を可能にするため、学生支援委員会において学務情報システムの活用を含めて検討し、改善を図る。

II：保健管理体制

1. 組織

(令和4年12月～現在)



2. 構成

(令和5年4月～令和6年3月)

松江センター長	河野 美江 (兼任松江保健管理センター教授)
教授	河野 美江 (産婦人科医師・臨床心理士)
准教授	杉原 志伸 (内科医師・産業医)
特任講師	猪口 かおり (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	執行 三佳 (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	小林 亮輔 (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	高橋 朋子 (臨床心理士・公認心理師)
保健師	長廻 久美子
保健師	小林 沙世
事務担当	飯野 修二 (学生支援課課長)
	前森田 博義 (学生支援課課長補佐 ～令和5年6月)
	青木 英治 (学生支援課課長補佐 令和5年7月～)

出雲センター長	田邊 一明 (兼任医学部教授)
教授	和氣 玲 (精神科医師・産業医)
保健師	永見 茉里
保健師	今岡 絵美子
技術職員	原 美貴 (臨床心理士・公認心理師)
技術職員	大野 晋平 (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	和田 葉子 (臨床心理士・公認心理師)
事務担当	錦織 千枝 (学務課総務係長 ～令和5年6月)
	前森田 博義 (学務課課長補佐 令和5年7月～)
	川上 徳仁 (学務課事務職員)

3. 管理運営委員会委員

松江保健管理センター

(令和5年4月～令和6年3月)	
理事(教育・学生支援担当)	肥後 功一
教育学部教授(障がい学生支援室長)	境 英俊
法文学部教授	飯野 公央
総合理工学部教授	亀井 淳志
松江保健管理センター長	河野 美江
松江保健管理センター准教授	杉原 志伸
教育・学生支援部長	廣兼 敦

出雲保健管理センター

(令和5年4月～令和6年3月)	
理事(医療・附属病院担当)	椎名 浩昭
医学部長(教授)	鬼形 和道(～令和5年9月)
医学部長(教授)	石原 俊治(令和5年10月～)
医学科長(教授)	内尾 祐司(～令和5年9月)
医学科長(教授)	楫 靖(令和5年10月～)
看護学科長(教授)	津本 優子
出雲保健管理センター長(教授)	田邊 一明
出雲保健管理センター教授	和氣 玲
医学部事務部長	浦田 明宏

4. 松江保健管理センター規程

(令和4年島大規則第188号)

(令和4年11月22日制定)

(趣旨)

この規程は、島根大学松江保健管理センター（以下「松江保健管理センター」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

(設置)

島根大学（以下「本学」という。）に、松江保健管理センターを置く。

(目的)

松江保健管理センターは、本学松江地区における保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、学生及び職員の健康の保持増進を図るとともに、出雲保健管理センターと協同して本学の保健管理の充実を図ることを目的とする。

(業務)

松江保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 保健管理計画の企画及び立案
- 二 定期及び臨時の健康診断
- 三 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導
- 四 健康相談及び精神保健に関する指導・助言
- 五 環境衛生及び感染症の予防に関する指導・助言
- 六 保健管理に関する調査研究
- 七 その他保健管理について必要な専門的業務

(職員)

松江保健管理センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 松江保健管理センター長
- 二 松江保健管理センターを担当する専任教員
- 三 その他必要な職員

(松江保健管理センター長及びその選考)

松江保健管理センター長の選考は、本学専任教授の中から、第8条に規定する島根大学松江保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、学長が行う。

2 松江保健管理センター長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 松江保健管理センター長は、松江保健管理センターの業務を掌理する。

(専任教員の選考)

専任教員の選考は、次条に規定する島根大学松江保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、学長が行う。

(松江管理運営委員会)

松江保健管理センターに、島根大学松江保健管理センター管理運営委員会（以下「松江管理運営委員会」という。）を置く。

2 松江管理運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 保健管理の基本方針
- 二 組織運営に関する基本方針
- 三 松江保健管理センター長及び専任教員の人事に関する事項
- 四 予算及び概算に関する事項
- 五 事業計画の策定及び実施
- 六 その他松江保健管理センターの管理運営に関する必要な事項
(松江管理運営委員会の組織)

松江管理運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 学長が指名する理事
- 二 前号の理事が指名する教員 若干名
- 三 松江保健管理センター長
- 四 松江保健管理センターを担当する専任教員
- 五 教育・学生支援部長

2 第1項第2号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 松江管理運営委員会に委員長を置き、委員長は、学長が指名する理事をもって充てる。

(松江管理運営委員会の会議)

松江管理運営委員会は、委員長が招集し、議長は、委員長をもって充てる。

2 委員長に事故があるときは、委員長の指名する委員がその職務を代理する。

3 松江管理運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 松江管理運営委員会は、出席委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 松江管理運営委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門委員会等)

専門の事項を検討するため必要があるときは、松江管理運営委員会に、専門委員会等を置くことができる。

2 専門委員会等に関し必要な事項は、松江管理運営委員会において定める。

(連絡会議)

第12条 学長は、保健管理センターに関して、松江保健管理センターと出雲保健管理センターにおける連絡調整を行う必要があるときは、各管理運営委員会の代表者による保健管理センター連絡会議を開催するものとする。

2 保健管理センター連絡会議については、別に定める。

(事務)

第13条 松江保健管理センター、松江管理運営委員会及び保健管理センター連絡会議の事務は、教育・学生支援 部学生支援課において処理する。

附 則

- 1 この規程は、令和4年11月22日から施行する。
- 2 この規程の施行前に廃止前の教育・学生支援本部保健管理センター規程第6条第1項に基づきセンター長として選考された者は、この規程の施行後最初に任命される松江保健管理センター長として、この規程第6条第1項により選考された者とみなす。
- 3 前項により、この規程の施行後最初に任命される松江保健管理センター長の任期は、第6条第2項の規定に関わらず、令和5年3月31日までとする。
- 4 この規程の施行後最初に任命される第9条第1項第2号の委員の任期は、第9条第2項の規定に関わらず、令和6年3月31日までとする。
- 5 教育・学生支援本部保健管理センター規程（平成25年島大規則第22号）は、廃止する。

5. 出雲保健管理センター規程

(令和4年島大規則第189号)

(令和4年11月22日制定)

(趣旨)

この規程は、島根大学出雲保健管理センター（以下「出雲保健管理センター」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

(設置)

島根大学（以下「本学」という。）に、出雲保健管理センターを置く。

(目的)

出雲保健管理センターは、本学出雲地区における保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、学生及び職員の健康の保持増進を図るとともに、松江保健管理センターと協同して本学の保健管理の充実を図ることを目的とする。

(業務)

出雲保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 保健管理計画の企画及び立案
- 二 定期及び臨時の健康診断
- 三 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導
- 四 健康相談及び精神保健に関する指導・助言
- 五 環境衛生及び感染症の予防に関する指導・助言
- 六 保健管理に関する調査研究
- 七 その他保健管理について必要な専門的業務

(職員)

出雲保健管理センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 出雲保健管理センター長
- 二 出雲保健管理センターを担当する専任教員
- 三 その他必要な職員

(出雲保健管理センター長及びその選考)

出雲保健管理センター長の選考は、本学専任教授の中から、第8条に規定する島根大学出雲保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、学長が行う。

2 出雲保健管理センター長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 出雲保健管理センター長は、出雲保健管理センターの業務を掌理する。

(専任教員の選考)

専任教員の選考は、次条に規定する島根大学出雲保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、学長が行う。

(出雲管理運営委員会)

出雲保健管理センターに、島根大学出雲保健管理センター管理運営委員会（以下「出雲管理運営委員会」という。）を置く。

- 2 出雲管理運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。
- 一 保健管理の基本方針
 - 二 組織運営に関する基本方針
 - 三 出雲保健管理センター長及び専任教員の人事に関する事項
 - 四 予算及び概算に関する事項
 - 五 事業計画の策定及び実施
 - 六 その他出雲保健管理センターの管理運営に関する必要な事項
- (出雲管理運営委員会の組織)

出雲管理運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 学長が指名する理事
 - 二 医学部長
 - 三 医学部から選出された教員 若干名
 - 四 出雲保健管理センター長
 - 五 出雲保健管理センターを担当する専任教員
 - 六 医学部事務部長
- 2 前項第3号の委員は、医学部長の申出に基づき学長が任命する。
- 3 第1項第3号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 出雲管理運営委員会に委員長を置き、委員長は、学長が指名する理事をもって充てる。

(出雲管理運営委員会の会議)

- 出雲管理運営委員会は、委員長が招集し、議長は、委員長をもって充てる。
- 2 委員長に事故があるときは、委員長の指名する委員がその職務を代理する。
- 3 出雲管理運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 4 出雲管理運営委員会は、出席委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 出雲管理運営委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門委員会等)

専門の事項を検討するため必要があるときは、出雲管理運営委員会に、専門委員会等を置くことができる。

- 2 専門委員会等に関し必要な事項は、出雲管理運営委員会において定める。

(連絡会議)

学長は、保健管理センターに関して、松江保健管理センターと出雲保健管理センターにおける連絡調整を行う必要があるときは、各管理運営委員会の代表者による保健管理センター連絡会議を開催するものとする。

- 2 保健管理センター連絡会議については、別に定める。

(事務)

出雲保健管理センター，出雲管理運営委員会及び保健管理センター連絡会議の事務は，医学部事務部学務課において処理する。

附 則

- 1 この規程は，令和4年11月22日から施行する。
- 2 この規程の施行前に廃止前の教育・学生支援本部保健管理センター規程第7条第1項に基き出雲センター長として選考された者は，この規程の施行後最初に任命される出雲保健管理センター長として，この規程第6条第1項により選考された者とみなす。
- 3 前項により，この規程の施行後最初に任命される出雲保健管理センター長の任期は，第6条第2項の規定に関わらず，令和6年3月31日までとする。
- 4 この規程の施行後最初に任命される第9条第1項第3号の委員の任期は，第9条第3項の規定に関わらず，令和6年3月31日までとする。

6. 島根大学学生相談室規程

(平成16年島大規則第101号)

(平成16年4月1日制定)

[令和4年3月22日最終改正]

(設置)

第1条 島根大学松江キャンパスに、学生相談室（以下「相談室」という。）を置く。

(目的)

第2条 相談室は、学生の個人的諸問題について相談に応じ、必要な支援を行うとともに、円滑な相談業務を進めることを目的とする。

(業務)

第3条 相談室は、前条の目的を達成するため、各学部、各研究科、指導教員及び教育・学生支援機構保健管理センター等と連携し、次の業務を行う。

- 一 学生及びその関係者（以下「学生等」という。）の相談に応ずること。
- 二 学生相談に係る資料の収集に関すること。
- 三 相談室連絡会議に関すること。
- 四 その他相談室に関する必要な事項。

2 相談室の運営は、学生の厚生補導に関する規則（以下「厚生補導規則」という。）第4条第1項に定める島根大学学生支援委員会（以下「学生支援委員会」という。）において行う。

(組織)

第4条 前条の業務を行うため、相談室に次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 室長
- 二 相談員
- 三 室員

(室長)

第5条 前条第1号の室長は、保健管理センター長をもって充てる。

- 2 室長は相談室の業務を総括し、必要に応じて相談室連絡会議を開催する。
- 3 室長は必要に応じて、相談室の業務内容等に関して学生支援委員会へ報告等を行う。

(相談員)

第6条 第4条第2号に定める相談員は、次の各号に掲げるものをもって充てる。

- 一 保健管理センター教員及びカウンセラー
- 二 その他学生支援委員会が必要と認めた者 若干名

2 前項第2号の相談員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の相談員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 3 第6条第1項第2号の相談員は、学生支援委員会の推薦により学長が任命する。
- 4 相談員は、第2条の目的を達成するため、学生等と面談し、問題解決のための助言・支援を行う。
- 5 相談員は、室長が招集する相談室連絡会議に出席しなければならない。

(室員)

第7条 第4条第3号に定める室員は、次の各号に掲げるものをもって充てる。

一 各学部（医学部を除く）人間社会科学研究科及び自然科学研究科教員 各1名

二 その他学生委員長会議が必要と認める者 若干名

2 前項第1号に定める室員は、厚生補導規則第4条第2項に定める委員会（以下「部局等委員会」という。）委員のうちから、各学生委員長の推薦により学長が任命する。

3 第1項第2号に定める室員は、学生支援委員会の推薦により学長が任命する。

4 室員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の室員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 室員は、室長が招集する相談室連絡会議に出席しなければならない。

6 相談室における学生等の相談状況を部局に伝え、学生指導・支援の改善について部局に提言する。

7 室員は、所属する部局からの学生相談に対する要望等の集約を行う。

(相談室連絡会議)

第8条 相談業務を円滑に進めるための情報共有及び今後の対応等を審議するため相談室連絡会議を行う。

2 相談室連絡会議の構成員は第4条に定める職員とする。

3 相談室連絡会議は、室長が必要に応じて招集する。

(責務)

第9条 相談室の職員は、学生個人の秘密を厳守しなければならない。

(事務)

第10条 相談室の事務は、教育・学生支援部学生支援課において処理する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成30年8月1日から施行する。

2 この規則施行後最初に任命される第6条第1項第2号相談員については、同条第2項の規定に関わらず、平成31年3月31日までとする。

3 この規則施行後最初に任命される第7条第1項各号の室員については、同条第4項の規定に関わらず、平成31年3月31日までとする。

附 則（令和2年12月28日一部改正）

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

附 則（令和3年3月29日一部改正）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和4年3月22日一部改正）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

7. 医学部学生相談室規程

(平成16年4月1日制定)

(平成16年島大医学部規則第44号)

(設置)

第1条 島根大学医学部（以下「本学部」という。）に、島根大学医学部学生相談室（以下「相談室」という。）を置く。

(目的)

第2条 相談室は、学生の個人的諸問題について相談に応じ、必要な支援を行うことを目的とする。

(業務)

第3条 相談室は、前条の目的を達成するため、指導教員及び島根大学保健管理センター出雲（以下「センター出雲」という。）等と連携し、次の業務を行う。

- 一 学生の相談に応ずること。
- 二 学生相談に係る資料の収集に関すること。
- 三 その他相談室に関する必要な事項

(組織)

第4条 相談室に次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 室長
- 二 相談員 2名
- 三 その他医学部長が必要と認めた者

(室長)

第5条 室長は、センター出雲の教員のうちから医学部長が指名する。

2 室長は、相談室の業務を総括する。

(相談員)

第6条 相談員は、本学部の教授、准教授又は講師のうちから医学部長が任命する。

2 相談員は、相談者の問題解決のための助言及び相談対応者の調整等を行う。

(任期)

第7条 相談員の任期は2年とする。ただし、欠員が生じた場合の後任の者の任期は、前任者の残任期間とする。

(秘密の厳守)

第8条 相談室の職員、指導教員及びセンター出雲等の学生相談関係者は、学生個人の秘密を厳守しなければならない。

(事務)

第9条 相談室に関する事務は、学務課において処理する。

(細則)

第10条 この規程に定めるもののほか、相談室に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年5月8日から施行する。

附 則

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

Ⅲ：沿革

1. 旧島根医科大学保健管理センター沿革

昭和50年	4月1日	島根医科大学開学	
昭和52年	4月1日	保健管理室業務開始	
平成3年	4月12日	保健管理センター開設（保健管理室を廃止）	
		初代所長 恒松徳五郎（内科学講座第三）教授	就任（併任）
平成3年	7月1日	保健師 米原満子	着任
平成4年	3月16日	講師 野原隆彦（第一外科より）	着任
平成4年	4月1日	保健管理センター開所	
平成5年	4月1日	2代所長 加藤讓（内科学講座第一）教授	就任（併任）
平成7年	4月1日	3代所長 福本四郎（内科学講座第二）教授	就任（併任）
		非常勤カウンセラー 和田（津森）葉子	着任
平成8年	9月16日	4代所長 小林祥泰（内科学講座第三）教授	就任（併任）
平成10年	9月16日	5代所長 高島利一（内科学講座第四）教授	就任（併任）
平成12年	9月16日	6代所長 木下芳一（内科学講座第二）教授	就任（併任）
平成14年	9月16日	7代所長 加藤讓（内科学講座第一）教授	就任（併任）
平成15年	10月1日	旧島根大学と島根医科大学が統合	

2. 島根大学保健管理センター沿革

昭和41年	開学以来設置されていた学生健康相談所に代わり、昭和41年6月国立学校設置法施行規則第29条の2の規定に基づき学生の健康管理に関する専門的業務を行う厚生施設として、全国で4大学（東大、京大、長崎大、島根大）に設置された。		
	初代所長（併）	福井一明助教授（教育学部）	就任
	井上照雄助教授（精神科）		着任
	看護師	徳永末子	着任 ～昭和53年3月
	非常勤講師	村江通之（衛生学）	
	非常勤医師	石倉 幌（内科）	～昭和60年3月
		高橋富士郎（内科）	
		青戸陽一（歯科）	～昭和55年3月
		茂木五郎（耳鼻科）	

昭和42年4月	所長	井上照雄助教授	就任	
	非常勤医師	西村 充（耳鼻科）		～昭和55年3月
昭和47年12月	本部管理棟へ移転			
昭和51年4月	所長（併）	小滝信夫教授（教育学部）	就任	～昭和52年3月
	助教授	井上照雄 教授に昇任		
	非常勤医師	中島隆司（整形外科）		
昭和52年4月	所長（併）	稲波正充教授（教育学部）	就任	～昭和57年3月
昭和53年4月	看護師	三崎キクノ	着任	～昭和58年3月
	臨床検査技師	柏（永海）紀子	着任	～平成28年3月
昭和55年	非常勤医師	青戸泰吉（歯科）		～平成12年3月
		永松力（内科）		
昭和56年	非常勤カウンセラー	落合潮	着任	～平成5年3月
	非常勤カウンセラー	大西俊江講師（教育学部）	着任	
昭和58年4月	所長	井上照雄教授（精神科）	就任	～平成5年3月
	講師	藤永佳代子（小児科）	着任	～昭和60年12月
	看護師	坪倉（清水）千歳	着任	
昭和60年4月	非常勤医師	池田博（内科）		
昭和61年1月	講師	谷本浩一（消化器内科）	着任	～昭和61年12月
昭和61年2月	保健管理センター現在地に移転			
昭和61年4月	講師	船井哲夫（精神科）	着任	
平成4年4月	所長	喜多村望教授（教育学部）	就任	～平成7年3月
	講師	船井哲夫 助教授に昇任		～平成6年3月
平成5年4月	助教授	荒川長巳（精神科）	着任	～平成30年3月
	非常勤カウンセラー	斉藤涉	着任	～平成6年3月
平成6年4月	助手	山本大介（精神科）	着任	
	非常勤カウンセラー	和田（津森）葉子	着任	～平成9年3月
平成8年4月	所長（併）	猪野郁子教授（教育学部）	就任	
平成9年4月	非常勤カウンセラー	足立富美子	着任	～平成17年3月
平成14年4月	非常勤カウンセラー	早瀬真知子	着任	
平成15年4月	助教授	荒川長巳 教授に昇任		～平成30年3月
平成15年9月	講師	山本大介 助教授に昇任		～平成19年4月
平成15年10月	旧島根大学・島根医科大学 統合			
	所長(併)	猪野郁子 教授（教育学部）	就任	～平成17年3月
	副所長(併)	小林祥泰 教授（医学部）	就任	～平成16年3月
	教授	荒川長巳（精神科）		

	助教授	山本大介 (精神科)		
	講師	野原隆彦 (外科)		
	看護師	坪倉千歳		～平成21年3月
	保健師	米原満子		～令和3年3月
	臨床検査技師	柏紀子		～平成28年3月
	非常勤医師	池田博 (内科)		～平成17年3月
	非常勤カウンセラー	大西俊江 名誉教授		～平成17年3月
	非常勤カウンセラー	足立富美子		～平成17年3月
	非常勤カウンセラー	和田葉子		
平成16年4月	国立大学法人 島根大学となる			
平成17年4月	所長(併)	蘆田耕一 教授 (法文学部)		～平成23年3月
	副所長(併)	杉本利嗣 教授 (医学部)		～平成21年3月
	特任講師	早瀬眞知子	着任	～平成28年3月
	非常勤医師	坂之上一史 (内科医師)		～平成28年3月
	講師	野原隆彦 助教授に昇任		
平成19年4月	助教授	野原隆彦 教授に昇任		
平成20年1月	講師	河野美江 (産婦人科)	着任	
平成21年4月	副所長(兼)	野原隆彦 教授 就任		～平成22年3月
	保健師	長廻久美子	着任	
平成21年5月	嘱託講師 (カウンセラー)	小林亮輔	着任	
平成22年4月	教授	江副智子 (予防医学)	着任	
	副所長 (兼)	江副智子 教授就任		～令和4年8月
平成22年4月	講師	河野美江 准教授に昇任		
平成23年4月	所長 (兼)	竹永三男 教授 (法文学部)		～平成26年9月
平成23年7月	嘱託講師 (カウンセラー)	執行三佳	着任	
平成24年4月	保健管理センター出雲内に「学生相談室」移転			
平成25年4月	島根大学教育・学生支援機構保健管理センターとなる			
平成26年10月	センター長(兼)	谷口隆雄教授(総合理工学研究科)	就任	～平成27年3月
平成27年3月	センター長(兼)	尾崎浩一教授(生物資源科学部)	就任	～平成31年3月
平成27年4月	嘱託講師(カウンセラー)	和田葉子 保健管理センター出雲「学生相談室」カウンセラー兼任		
平成28年4月	保健師	小林沙世	着任	
	特任講師	執行三佳	着任	～令和3年4月より 嘱託講師
	嘱託講師(カウンセラー)	早瀬眞知子	着任	～平成31年3月
平成30年4月	准教授	河野美江 教授に昇任		

	准教授	杉原志伸	着任	
8月	保健管理センター松江「学生相談室」開設			
10月	保健師	米倉かおる	着任	～令和2年2月
平成31年4月	センター長(兼)	河添達也教授(教育学部)	就任	～令和4年3月
	嘱託講師(カウンセラー)	高橋朋子	着任	
令和2年4月	保健師	井上和子	着任	
令和3年4月	特任講師(カウンセラー)	猪口かおり	着任	
令和4年4月	センター長(兼)	山口啓子教授(生物資源科学部)	就任	
7月	出雲センター長(兼)	田邊一明教授(医学部)	就任	

3. 島根大学松江保健管理センター沿革

令和4年11月	センター長(兼)	山口啓子教授(生物資源科学部)	～令和5年3月
	教授	河野美江(産婦人科)	
	准教授	杉原志伸(内科)	
	特任講師(カウンセラー)	猪口かおり	
	保健師	長廻久美子	
	保健師	小林沙世	
	嘱託講師(カウンセラー)	執行三佳	
	嘱託講師(カウンセラー)	小林亮輔	
	嘱託講師(カウンセラー)	高橋朋子	
令和5年4月	センター長(兼)	河野美江教授	就任

4. 島根大学出雲保健管理センター沿革

令和4年11月	センター長(兼)	田邊一明教授(医学部)	就任
	保健師	井上和子	～令和5年3月
	嘱託講師(カウンセラー)	和田葉子	
令和5年1月	教授	和氣 玲(精神科)	着任
令和5年4月	保健師	永見茉里	着任
令和5年9月	保健師	今岡絵美子	着任
令和5年10月	技術職員(カウンセラー)	大野晋平	着任
令和6年1月	技術職員(カウンセラー)	原 美貴	着任

島根大学保健管理センター年報

[2023年度]

令和6年12月発行

松江保健管理センター

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL 0852-32-6568

出雲保健管理センター

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

TEL 0853-20-2099